

宝珠山昇関係文書（第2次受入分）目録

2019.10 PDF作成

国立国会図書館憲政資料室

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録 【凡例】

目録の記述項目は、資料番号／枝番／タイトル／年月日／作成者／形態／記述法／数量／備考 である。
備考には、その資料を特徴づけると判断した情報を記入した。

資料は「第1部 書類の部」と「第2部 刊行物の部」に分かれる。

「第1部 書類の部」には、防衛庁の公文書や業務文書のコピー、宝珠山氏自身が執務等の過程で作成した文書、参考資料として集められた各種刊行物からのコピー、また宝珠山氏が政策研究大学院大学が実施したオーラル・ヒストリーのプロジェクトに協力した際に提供した資料等が含まれる。宝珠山氏は、これら「第1部 書類の部」の資料を自らの用途本位で整理し、書類綴(ファイル・書類用封筒等)ごとに保管していた。目録作成にあたって、この書類綴単位の整理はそのままとし、書類綴内の配列も維持した。分類下の項目名は宝珠山氏が書類綴に記載していた表題名から採用したもので、記載がないものには目録作成者が[]付きで付与した。そして内容に共通性がみられるものを集めて8つに分類し、その中で概ね年代順に並べた。ただし、オーラル・ヒストリーに分類した書類綴については、配列は維持したまま複数の書類綴を一括した。タイトルの後に記載した年代は、タイトルに記載されている場合はその年を、未記載の場合は判明している資料作成年の最初と最後を採用した。

「第2部 刊行物の部」には、防衛庁刊行物の他、防衛関係の刊行物や記事切抜・記事コピーが含まれる。

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録 【目次】

第1部 書類の部

防衛力整備・政策	1	[三次防関係] (1966年)	資料番号 1001	p.1
	2	[防衛計画の大綱関係] (1977~1978年)	資料番号 1002~1008	p.1
	3	五六中業長官指示関係 (1980~1982年)	資料番号 1009~1048	p.1~4
	4	五六中業説明資料 (1982~1983年)	資料番号 1049~1074	p.4~6
	5	基盤的防衛力の説明資料 (1985年)	資料番号 1075~1082	p.6~7
	6	防衛構想等関係手持資料 (1983~1986年)	資料番号 1083~1097	p.7~11
	7	国際協力関係原稿 (1990~1991年)	資料番号 1098~1160	p.11~15
国会対応	1	各種手持資料 (1974~1977年頃)	資料番号 1161~1202	p.15~19
	2	手持資料 国会想定問答 (1985年頃)	資料番号 1203~1218	p.19~21
	3	防衛課長手持資料 (1985~1986年頃)	資料番号 1219~1280	p.21~25
手許参考資料	1	その時々の手許参考資料 (1961~1989年)	資料番号 1281~1297	p.25~27
	2	防衛構想 (1968~1981年)	資料番号 1298~1306	p.27
	3	[参考資料] (1974~1982年)	資料番号 1307~1315	p.28
	4	[参考資料] (1976~1990年)	資料番号 1316~1325	p.28~29

	5 情勢判断参考資料（1977～1978年）	資料番号 1326～1343	p.29～30
	6 情勢判断参考資料（1979～1980年頃）	資料番号 1344～1396	p.31～34
	7 [参考資料]（1980～1981年）	資料番号 1397～1407	p.34～35
	8 [参考資料]（1985～1988年）	資料番号 1408～1429	p.35～36
	9 手持参考資料（1990年頃）	資料番号 1430～1439	p.36～37
海外出張	1 宝珠山審議官訪欧資料（1988年～1990年）	資料番号 1440～1452	p.37～40
	2 英国との対話（1989～1990年）	資料番号 1453～1477	p.40～41
宝珠山昇作成	1 防衛課部員時代のノート（1975～1978年）	資料番号 1478～1486	p.41～42
	2 [宝珠山昇作成文書 他]（1984～1991年）	資料番号 1487～1539	p.42～45
研修・講演	1 研修等講義資料（1976～1983年）	資料番号 1540～1567	p.45～47
	2 講演等資料（1985年頃）	資料番号 1568～1594	p.47～48
	3 講演原稿（1985年頃）	資料番号 1595～1611	p.48～49
	4 社会党勉強会（1990年前後）	資料番号 1612～1624	p.49～50
その他	1 [自衛隊幹部記章問題]（1960年）	資料番号 1625	p.50
	2 教養参考資料 [防衛庁入庁時研修資料]（1963年）	資料番号 1626～1631	p.51
	3 訓示（1970～1977年）	資料番号 1632～1642	p.51
オーラルヒストリー	オーラルヒストリー [準備資料]	資料番号 1643～1814	p.52～64
		(1815～2000は欠番)	
第2部 刊行物の部			
	1 防衛庁刊行物	資料番号 2001～2018	p.64～65
	2 その他刊行物（含 宝珠山昇執筆記事）	資料番号 2019～2090	p.65～71

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
第1部 書類の部										
防衛力整備・政策										
1 〔三次防関係〕(1966年)										
1001		(国防会議)第1回幹事会要旨	1966	6	28		書類	コピー	1綴(11枚)	防衛庁罫紙 昭和41年6月28日開催 「三次防の関係資料」と書込みあり
2 〔防衛計画の大綱関係〕(1977~1978年)										
1002		参考資料(その1)	1975	4	10	防衛を考える会	冊子	印刷物	1綴(40枚)	
1003		「防衛計画の大綱」の基本的部分の解釈 局長説明	1977	12	8		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1004		「防衛計画の大綱」の基本的部分の解釈	1977	12	7		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1005		「防衛計画の大綱」の基本的部分の解釈(計画官及び統幕・各幕課長レベル了解)	1977	12	12		書類	コピー	1綴(3枚)	「取り扱いには特に御注意下さい」印あり
1006		「防衛計画の大綱」の基本的部分の解釈(計画官及び統幕・各幕課長レベル了解)	1977	12	12		書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁罫紙 上記の草稿(手書)
1007		限定的かつ小規模な侵略事態等について	1978	2	14	統幕5室	書類	コピー	1綴(17枚)	「取扱に注意」印あり
1008		中期業務見積り作業の前提	1978	3	7	計画官室	書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙
3 五六中業長官指示関係(1980~1982年)										
1009		空ファイル					書類綴		1点	もと1010~1048を綴じていた 表題「五六中業長官指示関係」
1010		56中業長官指示、GNP1%等関連	2011	10	4	宝珠山昇	書類	印刷物	1枚	当該ファイルについての説明
1011		米国の緊急展開部隊(RDF計画)とペルシャ湾地域防衛のシナリオ (『中東通報』記事切抜)	1980	7		石原政孝	記事	印刷物	1綴(7枚)	「調査第二課長55.7.11」朱印あり マーカーでチェックあり
1012		[米ソ軍事力比較資料]					書類	コピー	1綴(14枚)	「調査第二課長55.12.6」朱印あり 米ソの軍事力比較のための各種資料を刊行物から集めたもの
1013		昭和57年度の防衛予算の「シーリング」への取り組み方について(私見)	1981	3	12	[宝珠山昇]	書類	鉛筆	1綴(4枚)	防衛庁用箋 「秘」と赤字で記載あり p.3はコピーがあり手書きにはない図が入っている
1014		M e m o	1981	3	27	宝珠山昇	書類	鉛筆	1綴(4枚)	防衛庁用箋 「秘」と赤字で記載あり 自衛隊の体制強化のため今後の施策を検討したもの

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1015		(自民党)5部会合同会議	1981	4	22		書類	ペン	1綴(3枚)	防衛庁用箋 「防衛局計画官56.4.22」朱印あり 会議参加者の発言の記録
1016		[日米防衛協力に関する資料]					書類	コピー	1枚	日米防衛協力に関する英文資料 つなぎ合わせて1枚にしたもの
1017		[装備に関するメモカ]					書類	ペン	1綴(4枚)	防衛庁用箋 「防衛局計画官56.4.30」朱印あり 冒頭に(池田、宝珠山、伊藤、久利、相沢、山崎、松本)とあり
1018		昭和58年度から昭和62年度までを対象とする中期業務見積り案の作成に際しての長官指示	1981	4	28	防衛庁長官	書類	印刷物	1枚	長官指示第2号56.4.28
1019		「大綱」の防衛力の水準と現状					書類	印刷物	1綴(2枚)	
1020		56中業(58年度～62年度を対象)の主要課題別表(手持ち)					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」印あり 書込みあり
1021		次の中業について	1981	4	15		書類	コピー	1綴(7枚)	防衛庁用箋 「指定前秘密」朱印あり 書込みあり
1022		[想定問答]「問二「日米防衛協力のための指針」は、国防会議に諮問して十分審議を尽くすべきではなかったか。」「問一六 次期対潜機の「国産化問題」から昭和五十二年十二月の決定に至るまでの経緯如何。」「問一九 予算の編成にあたり、「主要な事項」を国防会議にはかる場合、国防会議での審議結果をより直接的に予算に反映させるため、大蔵省の第一次査定内示以前に行うべきではないか。」					書類	コピー	1綴(6枚)	
1023		次期中業の国防会議付議について					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁野紙に衆・参の本会議及び各委員会の会議録の抜粋を貼付したものの マーカーでチェックあり
1024		GNP1%以内の「当面」の意味					書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙に衆・参の本会議及び各委員会の会議録の抜粋を貼付したものの
1025		外交・防衛に関する当面の指針	1981	4	22	自由民主党政務調査会	書類	コピー	1綴(2枚)	
1026		[1981年手帖の部分コピー]	2011	10	4		記事	コピー	2枚	「政府決定持ち…」(掲載紙不明)、「国防会議での各閣僚の発言」『朝日新聞』記事
1027		防衛庁における「五六中業」の作成に際しての基本的考え方についての防衛庁長官発言要旨	1981	4	28		書類	印刷物	1枚	「お願い 国防会議終了まで公表しないでください」朱印あり 書込みあり
1028		防衛力の現状と「大綱」の水準との概略比較					書類	印刷物	1枚	書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1029		[我が国の防衛力の現況 56.1.31現在]					書類	コピー	1枚	陸・海・空・統合幕僚会議の各人員構成・主要装備の一覧表
1030		防衛力整備計画の変遷					書類	印刷物	2枚	印刷物をルーズリーフに切り貼りしたもの 書込みあり マーカーでチェックあり
1031		第3表 米国議会における国防費の決定率(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	
1032		防衛力整備の考え方	1981	10		防衛局計画官	書類	コピー	1綴(7枚)	「防衛局計画官56.10.7」朱印あり 書込みあり 「防衛力整備の考え方」(草稿カ)の1ページ目が添付されており、「宝珠山」朱印とページ全体に赤で×、書込みあり
1033		[図表]					書類	コピー	1枚	図表1「防衛構想の比較」 図表2「地勢区分」 図表3「対潜戦」 図表4「航空警戒管制部隊の配置とレーダー覆域図」 図表5「領空侵犯対処等のための戦闘機部隊の配置」 書込みあり
1034		[防衛力に関する表]					書類	コピー	1綴(2枚)	「防衛力の現状と「大綱」の水準との概略比較 56.9」書込みあり/ 「防衛力整備(概略)目標の推移」「中期業務見積りににおける主要装備品の調達量及び勢力推移(昭55～59年度) 55年8月」
1035		防衛力整備の変遷と今後の課題	1981	5	8	防衛局計画官	書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 書込みあり
1036		米国国防支出額ソ連国防計画のドル換算推定額の比較					書類	コピー	1枚	「(FY82米国防報告より)」とある 書込みあり
1037		昭和58年度から昭和62年度までを対象とする中期業務見積り案の作成に際しての長官指示	1981	4	28		書類	印刷物	1枚	書込みあり
1038		防衛局長説明の骨子					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁野紙 「指定前秘密」朱印あり マーカーでチェックあり
1039		対潜水艦艇	1981	7	14		書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 型別の51年度時点の配備数と53中業完成時の配備予定数
1040		中期業務見積りににおける主要装備品の調達量及び勢力推移	1980	8			書類	印刷物	1枚	書込みあり
1041		中期業務見積りににおける主要装備品等の整備について					書類	コピー	1綴(2枚)	
1042		海自作戦用航空機減耗見込み	1981	4	27		書類	コピー	1枚	防衛庁用箋
1043		答弁資料 「問二 限定的且つ小規模侵略の具体的意味如何」「問三 大規模侵略に対処するには、どれだけの時間が必要とみているか」					書類	コピー	1綴(6枚)	防衛局長答弁 防衛庁野紙 参・予算 53.3 源田実(自)質問

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1044		[答弁資料] 「戦術支援システム、プログラム作成器材、パッシブ音響情報処理器材の関連」					書類	コピー	1枚	「防衛局長手持(渋谷の間5)」と書込みあり
1045		[積算資料]					書類	コピー	1綴(3枚)	「LCCモデル算定経費項目」「一定兵力積算結果」「費用分析結論」「一定防空効果積算結果」
1046		1982年の手帖よりコピー				[宝珠山昇]	書類	コピー	1枚	1982年1月31日から2月6日までの一週間の見開き2ページ分 黒塗り部分あり 「(注)防衛力装備に関する鈴木首相指示」(新聞記事切抜カ)が貼付されている
1047		総理から防衛庁長官へ(官房長官同席)(閣議後)	1982	1	12		書類	コピー	1綴(6枚)	「極秘」印あり 「複写厳禁」と赤で書込みあり
1048		中期業務見積りについて(防衛駐在官研修資料)	1982	2	15		書類	コピー	1枚	表紙のみ 「I 防衛政策の当面の課題」と題するメモあり
4 五六中業説明資料(1982～1983年)										
1049		表紙					書類綴		1枚	もと1050～1074を綴じていた 表題「五六中業説明資料」
1050		昭和58年度から昭和62年度までを対象とする中期業務見積もり(五六中業)について	1982	7	23	防衛庁	書類	コピー	1綴(13枚)	書込みあり
1051		報告要旨	1982	7	23	防衛庁	書類	コピー	1綴(5枚)	書込みあり 「宝珠山」印あり
1052		説明用メモ					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 「注意」朱印あり 書込みあり
1053		五六中業の経費の概要					書類	コピー	1枚	書込みあり
1054		[経費説明メモ]					書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁罫紙 書込みあり
1055		参・予算委(五八・三・一八)伊藤郁男君(民)「五六中業の達成と五九年度以降各年度の防衛費及び伸び率」	1983	3	18		書類	コピー	1綴(2枚)	委員会会議録
1056		五六中業の経費の概要					書類	コピー	1枚	1053と同文

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1057		〔大臣答弁資料〕(五六中業について)「問1 58年度の防衛予算2兆7,542億円は、57年度価格ではいくらになるか。実質伸び率は、対前年度いくらか。」「問2 今年は6.53%の伸びになったが、当初の計画より低くおさえられた。この58年度の防衛費を57年度価格で計算したものを五六中業の総経費(15兆6,000億円～16兆4,000億円)からひいて、残りを59年度から62年度までの4年間で達成するとすると各年度はどの程度の防衛費となるか。それぞれ高い方の経費と低い方の経費分けて問う。」「問3 また、4年間で達成とした場合の各年度の防衛費を確保するにはどの程度の対前年度の伸び率が必要か。高い方の経費と低い方の経費分けて問う。また、今の財政事情から考えて、それだけの伸びが毎年確保できると考えているか。」	1983	3			書類	コピー	1綴(3枚)	58.3. 参・予算委 伊藤郁男君(民) 「防衛局計画官」印あり 書込みあり
1058		〔答弁資料〕「問63 後年度負担額の59年度以降の年割額はどうか。また、59年度の歳出化分は、59年度予算をどの位押し上げることになるのか。」(1)59年度以降の歳出化予定年割額(2)59年度歳出化予定額の59年度歳出増加寄与率(経・会)					書類	コピー	1綴(3枚)	(参考)後年度負担の年割額(試算) 書込みあり
1059		〔答弁資料〕「問46 56中業の期間中に防衛費はGNPの1%相当額を上回るのではないか。その場合、「防衛費はGNP1%以内の決定」を撤廃することとなるのか。」(防・防、防・計)					書類	コピー	1綴(3枚)	(参考)議事録コピー 57・12・14 衆・予算委 大内啓伍(民)
1060		防衛関係費の対GNP比試算(名目)					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」朱印あり 書込みあり
1061		56中業防衛関係費の対GNP比(試算)					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」朱印あり チェックあり
1062		〔防衛費対GNP比試算〕					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 (1)GNPが実質4%成長の場合 (2)GNPが実質3%成長の場合
1063		五六中業の年度別経費の等比による試算	1983	1	6		書類	コピー	1枚	「指定前秘密」朱印あり 書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1064		[答弁資料] 「問47 56中業の達成という観点からみて、初年度である58年度予算をどのように考えているか。」(防・防、防・計、経・会)					書類	コピー	1綴(2枚)	
1065		[答弁資料] 「問48 58年度予算は、56中業における防衛費総額の試算額15.6兆円～16.4兆円との関係ではどんな状況か。」(防・計)					書類	コピー	1枚	書込みあり
1066		[答弁資料] 「問49 58年度予算は、56中業の正面経費の期間内歳出額4兆4,000億円～4兆6,000億円に対し、どの程度のものか。」					書類	コピー	1綴(2枚)	(参考)過去5年間の正面経費の伸率 書込みあり
1067		[答弁資料] 「問50 58年度予算は、56中業の正面経費の新規契約額5兆3,000億円に対しどの程度のものか。」(防・計)					書類	コピー	1綴(6枚)	(参考1)五六中業新規契約額(57価格) (参考2)58年度予算における新規契約金額について (参考3)正面及び後方新規契約額(物件費) 書込みあり
1068		[答弁資料] 「問51 58年度予算の決定により、56中業の経費等を修正するのか(防・計)					書類	コピー	1枚	
1069		[答弁資料] 「問52 五六中業に計上した主要事業の昭和58年度予算における進捗状況いかん(防・計)					書類	コピー	1綴(4枚)	(別表)陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊
1070		56中業人件・糧食費政策増内訳					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1071		後年度負担、歳出化における正面、後方、新規、規定別分類	1983	1	21		書類	コピー	1綴(2枚)	(付)防衛関係費の3分類推移
1072		陸自・海自・空自〔各装備単価・年割率〕					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙
1073		『防衛アンテナ』272号	1982	8	10	防衛弘済会	雑誌	印刷物	1冊	「中期業務見積り(56中業)について」防衛局計画官室 他 マーカーでチェックあり
1074		『国防』第31巻第10号	1982	10	1	朝雲新聞社	雑誌	印刷物	1冊	「特別インタビュー「五六中業」を聞く」宝珠山昇／本誌編集部 他
5 基盤的防衛力の説明資料(1985年)										
1075		表紙／メモ	2011	10	4	宝珠山昇			3枚	もと1076～1082を綴じていた表紙／「基盤的防衛力の説明資料」と題する1076～1082の資料の性格に関するメモ
1076		(参考3)防衛計画の大綱について	1976	10	29	国防会議決定 閣議決定	書類	コピー	1綴(6枚)	(付)表紙 「宝珠山」印あり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1077		防衛計画の大綱	1985	3	11		[冊子]	コピー	1綴(48枚)	表紙に「宝珠山」印、「防衛課長」印あり 各項目別付箋あり 1 基盤的防衛力構想採用の経緯(51白書) 2 基盤的防衛力構想採用の背景(52白書) 3 基盤的防衛力構想の考え方(52白書) 4 基盤的防衛力の具体的内容(52白書) 5 基盤的防衛力の整備(52白書)
1078		[答弁資料] 「問61 海上自衛隊の作戦用航空機約220機の内訳を示せ、また、四次防実績より10機増の必要性いかに。」 「問60 対潜水上艦艇約60隻の内訳を示せ。」(防・防)					書類	コピー	1綴(4枚)	(付)大綱別表における作戦用航空機約430機の内訳、基盤的防衛力整備時における作戦機約430機の内訳
1079		[答弁資料] 「問2 「防衛計画の大綱」別表の海上自衛隊の作戦用航空機約220機のうち、固定翼対潜機は約100機であると聞か、その根拠を問う。」	1985	2	5		書類	コピー	1綴(5枚)	矢野問2関連想定 防衛局長答弁 60.2.5 衆・予算委 矢野絢也君 (参考1)議事録コピー 56中業(P-3C)57・2・2 衆・予算委員会 (参考2)大綱水準達成の場合の海上防衛力 衆・外 五六・四・一〇(14/15)
1080		「明確化された基盤的防衛力構想ー「防衛計画の大綱」の特徴と課題ー」(『国防』記事コピー)	1977	1	1	小宇佐昇	記事	コピー	1綴(28枚)	
1081		[図表]					書類	コピー	1綴(5枚)	図表1 防衛構想の比較/図表2 地勢区分/図表3 対潜戦/図表4 航空警戒管制部隊の配置とレーダー覆域図/図表5 領空侵犯対処等のための戦闘機部隊の配置
1082		[AWACS関係] ([掲載誌不明] 記事コピー)					記事	コピー	1綴(3枚)	
6 防衛構想等関係手持資料(1983~1986年)										
1083		空ファイル					書類綴		1点	もと1084~1097を綴じていた 表題「防衛構想等関係手持資料 S58年頃~S61年頃」
1084	1	日本の防衛について [レジュメ]	1983	10	6	講師 大原良平	書類	コピー	1綴(3枚)	書込みあり
1084	2	別添一 米国の対日防衛努力の期待感の高まりについて	1980	2	12	安全保障課長	書類	コピー	1綴(6枚)	「秘 無期限」印あり
1084	3	別添二 わが国の防衛努力ーわが国として米側に如何なる議論を展開しうるかー	1980	2	27	安保課長	書類	コピー	1綴(9枚)	「秘 無期限」印あり
1084	4	来年度防衛関係予算(技術的観点から説明する場合)					書類	コピー	1綴(3枚)	
1084	5	55年度在日米軍施設・労務関係政府予算					書類	コピー	1枚	
1084	6	駐留軍関係経費 [表]	1980	1			書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1084	7	わが国防衛関係費の推移(昭35=1960年以降) 〔表〕	1980	1			書類	コピー	1枚	
1084	8	世界各国(上位10位)の国防費の推移〔表〕	1979	9			書類	コピー	1枚	
1084	9	米国の国家情報機構／国防長官事務局の情報機能〔組織図〕					書類	コピー	1綴(8枚)	
1084	10	中曽根防衛庁長官の訪米について(『防衛アンテナ』記事コピー)	1970	10		長官官房広報課	記事	コピー	1綴(6枚)	
1084	11	中曽根防衛庁長官の外人プレスクラブでの講演(『防衛アンテナ』記事コピー)	1970	12		長官官房広報課	記事	コピー	1綴(2枚)	
1085		特集 坂田・シュレジンジャー会談の要旨(『防衛アンテナ』記事コピー)	1975	10		防衛庁長官室	記事	コピー	1綴(19枚)	
1086	1	シーレーン防衛共同研究における被害分析					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1086	2	(参考)各国の国際海上輸送量(積下し)の世界全体に占めるシェア(昭和58年)／我が国及び英国の海上荷動き量の世界全体に占めるシェア(昭和60年)					書類	コピー	1綴(2枚)	
1086	3	1 航空機1機当たりのパイロット数／2 機種別クルー定数及び平素運用時乗員数					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 「手持ち」と書込みあり
1086	4	〔答弁資料 シーレーン防衛関連 定義・目的・脅威・方法・防衛力整備上の地理的範囲・航路帯について・海上交通保護のための武力行使の地理的範囲・海域分担・不可能論に対して・どの程度出来るか・千海里以遠について・シーレーン防衛の日米共同研究・共同対処行動中の米艦艇・外国船舶・海峡封鎖(一般)・海峡封鎖(米国による海峡封鎖)〕					書類	コピー	1綴(33枚)	追加書込み(ペン)あり (付)米艦艇護衛等をめぐる国会論議／防衛計画等におけるシーレーン防衛関連記述／「シーレーン防衛」作戦の概要〔図〕
1087	1	説明資料(案) 自衛隊の防衛能力等について					書類	コピー	1綴(9枚)	「指定前秘密」朱印あり 「極秘」印の資料も含む 「局長手持用」と書込みあり
1087	2	陸上部隊の配備〔図〕					書類	コピー	1枚	
1087	3	対潜水上艦艇部隊の運用構想〔表〕					書類	コピー	1枚	「秘」印あり
1087	4	固定翼対潜機の運用構想〔図〕					書類	コピー	1枚	
1087	5	自衛隊の航空機搭乗員について〔表〕					書類	コピー	1枚	「手持ち」他書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1088		[観艦式について]					書類	コピー	1綴(4枚)	観艦式の歴史/観艦式の実施/旧海軍の観艦式〔表〕/観艦式実績〔表〕
1089		[我が国の周辺海域防衛]					書類	青焼	1綴(16枚)	参考資料 第2次大戦における日本船舶の喪失状況/5 周辺海域の制海、海峡防備等の作戦/6 海上交通維持の作戦/7 通信組織/8 電子戦
1090	0	空封筒				防衛庁	封筒		1点	仕切りとして使用されていた
1090	1	ソ連の軍事力の増強と西側の対応努力					書類	コピー	1枚	
1090	2	ソ連の進出状況					書類	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1090	3	世界の軍事力(通常兵力)の対峙状況					書類	コピー	1枚	書込みあり
1090	4	極東ソ連の軍事力					書類	コピー	1枚	書込みあり 貼付資料あり
1090	5	米国国防支出額とソ連国防計画のドル換算推定額の比較					書類	コピー	1枚	書込みあり 貼付資料あり
1090	6	米ソの戦略戦力レベルの推移					書類	コピー	1枚	書込みあり 貼付資料あり
1090	7	米ソの通常戦力推移					書類	コピー	1枚	書込みあり
1090	8	極東における米ソ兵力推移					書類	コピー	1枚	書込みあり 貼付資料あり
1090	9	1965年～1979年における米・ソの兵力推移					書類	コピー	1枚	書込みあり
1090	10	朝鮮半島の軍事力/中ソ国境兵力配備/インドシナにおける軍事態勢〔図〕					書類	コピー	1枚	書込みあり
1090	11	先進18か国のGNPの構成比					書類	コピー	1枚	書込みあり
1090	12	インド洋周辺地域における米・ソ・英・仏の寄港地等/西太平洋・インド洋の空母展開状況					書類	コピー	1枚	書込みあり 貼付資料あり
1090	13	NATO首脳会談	1978				書類	コピー	1枚	書込みあり
1090	14	中東への米地上部隊急速展開能力					書類	コピー	1枚	「調査第二課長 55.12.-1」印あり 書込みあり
1090	15	中越地域の雨量					書類	青焼	1枚	「中越」はインドシナ半島周辺
1091	1	米軍の動員態勢(米軍の動員態勢(国防省内話)(61.6.7公電)のまとめ)					書類	コピー	1綴(3枚)	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1091	2	〔航空機調達に関する資料 図表〕					書類	コピー	1綴(5枚)	航空機(品目別)操業度見積/航空機(メーカー別)操業度見積/航空機(個別メーカー別)操業度見積/機体5社直接工数占有率見積/主要国内製造航空機の調達見通し(試算) 「指定前秘密」朱印あり
1091	3	"COLD WAR" AND "DÉTENTE" PERIODS					書類	コピー	1綴(3枚)	マーカーでチェックあり
1091	4	自衛官と各国軍人の俸給比較(初号俸)/海上自衛隊と米海軍の年間給与比較(試算)					書類	コピー	1綴(2枚)	
1091	5	自衛官俸給制度改正と格付是正について	1985	9		防衛庁	書類	印刷物	1綴(8枚)	「防衛課長 60.9.-6」印あり
1092	1	陸上防衛態勢に関し今後更に検討すべき事項					書類	コピー	1綴(6枚)	「指定前秘密」朱印あり
1092	2	陸上自衛隊の体制(作戦基本部隊等)の概要					書類	コピー	1綴(19枚)	「指定前秘密」朱印あり
1092	3	予備役制度の今後の在り方(概要)					書類	コピー	1綴(11枚)	「指定前秘密」朱印あり
1092	4	各種機能別体制(人事、兵站等)の概要					書類	コピー	1綴(7枚)	「指定前秘密」朱印あり
1092	5	方面管区制にあたり、5コ方面区に区分した理由					書類	コピー	1枚	
1092	6	海上自衛隊大綱水準(別表)の内訳/航空自衛隊大綱水準(別表)の内訳					書類	コピー	1綴(2枚)	マーカーでチェックあり
1092	7	NATO-CONFIDENTIAL					書類	コピー	1綴(2枚)	
1092	8	陸上自衛隊の人員費抑制施策について/海上自衛隊における定員抑制について/航空自衛隊における増員抑制施策の現状(空幕防衛課編成班)	1986	8	18		書類	コピー	1綴(9枚)	書込みあり
1092	9	〔戦車の必要性に関する資料〕					書類	コピー	1綴(14枚)	
1092	10	〔戦車の必要性について〕/主要装備の更新状況(60.3末現在)					書類	コピー	1綴(2枚)	「4/10 参・安保特小委において鈴木敏通参考人(元陸幕長)が議員に配布した資料」とある
1092	11	自衛隊の教育訓練実施上の制約と対応	1987	6	9		書類	コピー	1綴(12枚)	
1093	1	〔防衛庁長官記者発表文〕	1971	4	27		書類	コピー	1綴(3枚)	(付)(説明用メモ)新防衛力整備計画(防衛庁原案)について
1093	2	新防衛力整備計画案の概要について	1970	10	17	防衛庁	書類	コピー	1綴(5枚)	「10.19 記者クラブ」とある
1093	3	新防衛力整備計画(防衛庁原案)について	1971	4	26		書類	コピー	1綴(9枚)	
1093	4	四次防の整備方針の推移について	1972	2	14	防衛庁	書類	コピー	1綴(2枚)	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1094	1	我が国の防衛構想について	1983				書類	コピー	1綴(11枚)	1 侵略の態様 2 単一のシナリオ設定の困難性 3 見積り作業等 (付) 第1 上着陸侵攻のシナリオ (出典: 来栖弘臣著「仮想敵国ソ連ーわれらこう迎え撃つー」講談社 55.4) / 第2 シーレーン攻撃のシナリオ (出典: 大賀良平著「シーレーンの秘密」潮文社 58.5)・大賀、竹田、永野対談「日米共同作戦ー日米対ソ連の戦いー」麴町書房 57.1)
1094	2	上着陸侵攻のシナリオ [来栖氏想定と56中業能力見積りとの比較] / シーレーン攻撃のシナリオ / 航空攻撃のシナリオ [大賀氏想定と56中業能力見積りとの比較]					書類	コピー	1綴(17枚)	出典: 来栖弘臣著「仮想敵国ソ連ーわれらこう迎え撃つー」(講談社 55.4) / 大賀良平著「シーレーンの秘密」(潮文社 58.5) / 大賀、竹田、永野対談「日米共同作戦ー日米対ソ連の戦いー」(麴町書房 57.1)
1095	1	昭和60年度防衛予算案について					書類	コピー	1綴(16枚)	防衛関係費の規模 / 主要経費別内訳 / 国防費の国際比較(1982年度) / 防衛関係費の費目別内訳 他 書込みあり
1095	2	[我が国防衛の基本体系について]					書類	コピー	1綴(10枚)	1 わが国の防衛政策の体系 / 2 防衛2法から見た防衛政策の体系 / 3 「防衛計画の大綱」の体系 / 4 中期業務見積りの体系 / 5 日米安保条約の体系 / 6 「日米防衛協力のための指針」(53.11.27)の体 (付) 日本国と周辺諸国との条約関係
1096	1	歴代総理大臣による自衛隊に関する憲法論議	1985	10	21		書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 「60.10.21 官・法」とあり 課員、課長、官房長印あり
1096	2	「防衛計画の大綱」主要装備の各年度完成時勢力推移					書類	コピー	1綴(3枚)	(付)防衛力整備の推移(「大綱」分類)「60.10.11」とあり
1096	3	防衛大学校について / 防衛医科大学校について				(担当)教育課 衛生課	書類	コピー	1綴(2枚)	上原康助議員(社会党)要求資料
1097		日本の南の島々と飛行場等について(未定稿)	1985	4			書類	コピー	1綴(11枚)	「注意」朱印あり (付) [各島地図]
7 国際協力関係原稿(1990~1991年)										
1098		表紙					書類綴		1点	もと1099~1160を綴じていた 表題「国際協力関係原稿 90.9-91.9」
1099		[挨拶文]	1991	5	8	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	宝珠山の内閣審議官就任のお祝いに対する返礼の書式(宛名が白地になっている)
1100		PKO室 [からの情報]		9	10		書類	コピー	1綴(3枚)	[PKO法案の論点] 武器の使用、武器の範囲、国会への報告、撤収、自衛隊法95条、自衛隊員としての業務、協力隊員としての業務、武器
1101		市川 [公明党] 書記長 [からの情報]		9	6		書類	コピー	1枚	PKO、政治改革、老健法
1102		PKO室準備室 [からの情報]		9	5		書類	コピー	1綴(3枚)	[PKO法案の論点] 1)5原則 2)国会の承認 3)規模の上限 4)最小限の武器使用 5)武器の範囲 6)兵力の引き離し 7)自衛隊法95条との関係 8)自衛官の併任 9)防衛庁サイドに対する印象 10)朝日新聞の記事 11)緊急援助隊 12)その他

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1103		政府筋 [からの情報]		8	29		書類	コピー	1枚	PKO、証券、イトマン
1104		PKO室準備室 [からの情報]		8	28		書類	コピー	1綴(3枚)	[PKO法案の論点] 1)国会の承認 2)5原則 3)規模の上限 4)併任 5)期限 6)生命等 7)武器の範囲 8)総理の意向
1105		公明党 二見伸明政審会長談(メモ)	1991	5	23		書類	コピー	1綴(2枚)	「(秘)」と書込みあり PKOについて (付)「キャスティングボートを駆使し新しい党の時代開こう 富山県本部臨時大会で市川書記長」『公明新聞』1991.5.23
1106		公明党幹部 [からの情報]		5	8		書類	コピー	1綴(6枚)	「5/8 タ サシ 完全オフレコ」とある PKO協議、自社・自公民関係、政局 コピー裏にボールペンで書込みあり
1107		[PKFの武器使用に関する私見]	1991	9	3	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	「事務次官、官房長、防衛局長 殿 限り」とある (付)コピー 衆議院予算委員会会議録(1991.8.20)二見伸明(公明党)質問、海部首相答弁 マーカーでチェックあり
1108		「国会承認」の諸形態について(私見)	1991	8	30	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1109		参考	1991	8	19	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	国際平和協力活動への積極的参加を目指すことを基底に質疑に臨むとする
1110		PKO関連質問要旨	1991	8		[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(10枚)	国会審議における想定質問集
1111		PKFと「武力の行使」等について(私見・未定稿・91-7-16)	1991	7	16	[宝珠山昇]	書類	印刷物	2綴(7枚・6枚)	(付)コピー 「参考 関連する主要な政府見解」、「(合体試案)」と書込みのある自衛隊法第94条の二、自衛隊法第95条、警察官職務執行法第7条、自衛隊法第87条～第90条の各条文
1112		国際平和協力を奨励している憲法 一 国連平和維持軍への自衛隊参加一(私見未定稿)	1991	6		[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(11枚)	
1113		MEMO(記憶によるもの、不正確部分多)				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	(付)コピー 「国際平和協力に関する合意覚書 平成二年十一月九日 自由民主党・公明党・民社党」
1114		PKO関連の作業についての小職の基本的理解	1991	6	20	[宝珠山昇]	書類	コピー	1枚	「極秘」朱印あり
1115		PKO状況(91-06-18)(私見)	1991	6	18	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1116		国連平和維持軍への自衛隊の参加について(私見)	1991	6	18	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(5枚)	
1117		自衛隊法の一部を改正する法律案(私案)	1991	6	6	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	自衛隊法第83条、第94条、第99条関連
1118		指揮監督権、「併任」問題等(私見・未定稿)	1991	6	3	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(3枚)	送り状が表紙になっている

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1119		自由民主党総務会長 西岡武夫宛FAX原稿	1991	5	23	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	停戦監視団の監視員の武装の有無について
1120		報告MEMO(03-04-03)	1991	4	3	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	米国が日本の掃海艇派遣に言及しない背景説明
1121		[挨拶文]	1991	5	8	宝珠山昇	書類	コピー	1綴(13枚)	内閣審議官就任のお祝いに対する返礼 同封物:「国際協力体制の段階的選択-自衛隊への正常な認識と信頼を基礎に-」(著者不明) 書込みあり
1122		MEMO(1991・3・20)	1991	3	20	[宝珠山昇]	書類	コピー	1枚	平和維持軍への参加について 参考として「平和維持軍への参加将来的には必要に 社会党代議士筒井信隆」(『産経』1991.3.20記事コピー)
1123		要員構成 図解					書類	印刷物	1枚	国際平和協力活動のための要員構成
1124		派遣される国民の立場に配慮を-人的な国際貢献論議に望むこと-				宝珠山昇(防衛庁参事官)	書類	印刷物	1綴(2枚)	
1125		内閣安保室の機能充実 防衛庁から局長級を派遣(『毎日新聞』記事コピー)	1991	3	10	毎日新聞社	記事	コピー	1枚	
1126		派遣される国民の立場に配慮を-人的な国際貢献論議に望むこと-				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	1124と同文だが無署名
1127		適時適量適質の要員確保が問題-派遣される国民への配慮で解決-				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	
1128		人的な国際協力の実行のためには-自衛隊に対する認識の改革が必要-	1990	11	21	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	
1129		自衛隊員に対する信頼と礼儀が必要-国際協力への自衛隊参加論議の稚拙-(未定稿)	1990	11	6	林松次 [宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(13枚)	書込みあり 記事コピー(資料源:読売新聞国際面) 貼付
1130		[「自衛隊員に対する信頼と礼儀が必要」に関する修正依頼のFAX原稿]	1990	11	13	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	「大倉様(国防編集部気付け)」とある
1131		[自衛隊海外派兵の必要性]	1990	11	7	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(4枚)	書込みあり 国際平和協力活動に自衛隊を活用する必要性について言及した論文
1132		協調・安定・繁栄か、孤立・不安・衰退か-国会は合意を形成、その実行措置を取れ-	1990	11	5	林松次 [宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(3枚)	「産経新聞 編集部 御中」とある
1133		国連等の活動への協力に関する臨時緊急の対応方針(試案)	1990	11	2	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(3枚)	書込みあり (付)送り状:「とりあえずの補足説明」、「'90 11/2 高村先生」

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1134		(未定稿)自衛隊員に対する信頼と礼儀が必要－国際協力への自衛隊参加論議の稚拙－	1990	10	31	[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(10枚)	1129の元原稿、推敲の書込み多数、「清水さん、久世先生 10/31」と書込みあり
1135		「平和協力業務」と「武力行使との一体性」論議の整理(試案)〔表〕	1990	10	30	[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(2枚)	(付)送り状:「何等かのご参考」とあり、「依 日 藤 島 山拓 高村」と書込みあり
1136		国連平和協力の質と量が本質問題－自衛隊の参加の有無は手段の問題－	[1990]	10	24	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(4枚)	「広瀬ヘレター 10月25日」と書込みあり
1137		国連平和協力の質と量が本質問題－自衛隊の参加の有無は手段の問題－	1990	10	24	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(4枚)	1136の改訂版 (付)ファクスの送り状 「論説主幹代理 広瀬道貞氏」宛
1138		「平和協力業務」と「武力行使との一体性」論議の整理(試案)〔表〕					書類	コピー	1綴(2枚)	1135と同文 (付)送り状
1139		国連等の活動への協力に関する臨時緊急の対応方針(試案)	1990	10	27	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(5枚)	1133の元原稿 書込みあり (付)補足説明
1140		社党の「大綱」要旨(記事コピー)					記事	コピー	1枚	「15AB29 J5A481 AB29 政 223」とある 社会党が発表した「国連平和協力機構」設置大綱について報じたもの
1141		国連活動等への協力に関する対応方針(試案)	1990	10	26	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1142		国連平和協力に対する対応方針(試案)	1990	10	25	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	推敲の書込み多数
1143		トウ・リツル、トウ・レイト&ライア?	1990	10	23	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	1134と関連あり
1144		互いに避(ママ)難をやめて先進国合同軍創設に努力できないか	1990	10	23	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	「MR. SHINJI OTSUKI」宛
1145		〔指摘事項〕	1990	10	12	宝珠山昇(防衛庁参事官)	書類	印刷物	1枚	「さしかえ」とあり、「嚴重に抗議すべき事項」、「修正を要求すべき事項」とあり、それぞれ〔PKO法案〕条文での表現を問題にしている
1146		参考(1990-10-9)	1990	10	9	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	関連する〔自衛隊〕法改正に関する意見
1147		参考(1990-10-8)	1990	10	8	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(3枚)	関連する〔自衛隊〕法改正に関する意見 「注意」と赤字で書込みあり
1148	1	参考意見(1990-10-5)	1990	10	5	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	関連する自衛隊法の改正に対する意見 (付)「武力の行使、武器の使用関係」
1148	2	参考意見(1990-10-5)	1990	10	5	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	1148-1の改訂版カ
1149		中東の平和への協力に関する臨時緊急措置法(例示的私案)	1990	10	4	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(4枚)	書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1150		中東の平和への協力に関する臨時緊急措置法(例示的私案)	1990	10	2	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(4枚)	1149とは異なる部分あり
1151		中東の平和への協力に関する臨時緊急措置法要綱(例示案)	1990	10	4	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(3枚)	(付)1 「国連平和協力法案」の主要問題点 2 緊急立法に際しての考慮事項
1152		自衛隊員と一般職国家公務員との相違(私見)	1990	10	2	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1153	1	「国連平和協力法案」要項に対する私見	1990	9	28	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1153	2	「国連平和協力法案」要項に対する私見	1990	9	28		書類	コピー	1枚	1153-1と同文 書込みあり
1154		戦時国際法の側面				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	1 戦闘員 2 非戦闘員 3 敵軍に属する外人 4 捕虜となり得る者 5 間諜 6 間諜の処罰
1155		田村参議院議員からの伝言要旨	1990	9	25	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	「次官、官房長、防衛局長」と書込みあり
1156		自衛隊法の一部を改正する法律案(試案)				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1157	1	自衛隊法改正案の骨子(例示的私案)	1990	9	25	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(2枚)	
1157	2	自衛隊法改正案の骨子(例示的私案)	1990	9	25	[宝珠山昇]	書類	コピー	1枚	1157-1と同文 書込みあり
1158		「国連平和協力隊」の問題点(私見)				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	
1159		国連平和協力法の自衛隊関連主要部分(私案を含む)				[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(2枚)	
1160		「公務員の労働基本権」(不明刊行物部分コピー)						コピー	2枚	公務員の労働関係の対照表掲載部分 (同文2枚)
国会対応										
1 各種手持資料(1974～1977年頃)										
1161		表紙					書類綴		1枚	もと1162～1202を綴じていた 表題「各種手持資料 昭49～52年頃」「宝珠山昇(防衛局防衛課部員)」とある 「宝珠山」印あり
1162		〔「間接侵略」に関する答弁資料等〕「自衛隊の任務では、「間接侵略に対し防衛」とあるのに治安出動に間接侵略がでてくるのは矛盾ではないか。」					書類	コピー	1綴(5枚)	「(防衛局長手持資料)」と書込みあり 昭49.4.24衆決算委会議録他
1163		SALT-II交渉の合意事項					書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1164		[公刊資料により作成した核兵器に関するデータ]					書類	コピー	1枚	世界における核兵器の数量と配置状況/各国別核実験回数
1165		世界の人工衛星等の状況	1977	12	25		書類	コピー	1枚	USAF-NORAD, 1977. 12. 25現在 (IAL, Jan. 17, 1978)
1166		[核爆発の被害関係資料]	1978	3	10		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁野紙 玉置和郎(自) 局長手持ち資料
1167		武力紛争における死傷者数について					書類	コピー	1綴(2枚)	参考 中東戦争による戦死者数
1168		北米1資料(73)No. 61 戦争権限法(成立の経緯とその意義)	1973	11	29	[外務省] アメリカ局北米第一課	書類	コピー	1綴(20枚)	「取扱注意」印あり 「(防衛局長手持資料)(源田実 問2)」と書込みあり マーカーでチェックあり (付)アメリカ合衆国憲法(抜粋コピー)
1169		米国の戦略核戦力における対兵力戦力について“Counterforce Issues for the U. S. Strategic Nuclear Forces”	1977	1		米議会予算局	書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 マーカーでチェックあり
1170		[答弁資料] 「問 国政調査権による資料要求に対して、秘密書類を提出しない理由」					書類	コピー	1綴(3枚)	「防衛局長手持」と書込みあり (付)関連法規 議事録コピー 47・6・6(参・法務)野々山一三(社) 47・5・25(参・法務)野々山一三(社)
1171		基本的態度＝国民に防衛を真剣に考える材料の提供	1978	2	16		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁野紙 「53. 2. 16. 糸山事務所」と書込みあり
1172		[国会対応のためのメモカ]				[宝珠山昇]	書類	ペン、鉛筆	1綴(2枚)	防衛庁野紙
1173		[説明資料] 第1 我が国をめぐる軍事情勢について 第2 日米関係(日本の防衛努力に対する米側の要請)	1977	9	7		書類	印刷物	1綴(2枚)	「(52. 4. 7 主計局長説明資料)」と書込みあり
1174		在韓米軍撤退の問題に関する防衛庁の見解	1977	3	18		書類	コピー	1綴(3枚)	「秘」印あり 「52. 3. 18? 福田・カーター会談向?」と書込みあり
1175		[総理説明用資料] 第1 我が国をめぐる軍事情勢について 第2 防衛計画の大綱について	1977	2			書類	印刷物、コピー	1綴(14枚)	印刷物: 「(52. 2)総理説明用?」と書込みあり、「宝珠山」印あり (付)コピー: 「(52. 3. 外)」と書込みあり 目次 I問題の背景 一、米、中、ソ三国の戦略と朝鮮半島 三、わが国の防衛政策上の韓国の価値 「極秘」記載あり
1176		昭和三十八年度統合防衛図上研究(三矢研究)について	1965	3	10	防衛庁	[冊子]	コピー	1綴(10枚)	衆・三矢小委 参・予算委提出 「参考資料」と書込みあり
1177		「新戦闘機の整備について」答申	1969	1	10	国防会議議長	書類	コピー	1綴(6枚)	内閣野紙 「宝珠山」印あり (付)官房長官新聞発表資料 [次期戦闘機の整備について] 昭和34年11月6日 国防会議決定/「P2V対潜哨戒機の整備について」 昭和32年9月10日 国防会議決定
1178		[戦闘機関係のメモ]				[宝珠山昇]	書類	鉛筆	1枚	防衛庁野紙

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1179		〔戦闘機等に関する国防会議決定〕	1957～ 1969				書類	コピー	1綴(4枚)	P2V対潜哨戒機の整備について 他3件
1180		〔想定問答〕「問三 新戦闘機が対処しようとする脅威とはいかなるものか。(爆撃機か、戦闘機か、ミサイルか。)」「問四 将来の防空の主体は、ミサイルではないか。戦闘機導入よりもナイキ、ホークの増強の方がより効率的ではないか。」「問六 新戦闘機の選定基準いかなん。」					書類	コピー	1綴(4枚)	
1181		題「米ソ間のデタントと軍備管理」 於アメリカン・センター〔講演記録〕	1975	6	18		書類	コピー	1綴(16枚)	防衛庁野紙
1182		序論(局地戦争に関する不明刊行物の部分コピー)					記事	コピー	1綴(4枚)	
1183		〔4次防計画の予算について〕					書類	青焼	1枚	予算審議における経緯等
1184		極東におけるソ連の軍事行動とその評価	1975	8	20		書類	コピー	1綴(5枚)	防衛庁野紙 (付)「Suggestion for SCG Topics」24 July 1975
1185		〔朝鮮半島情勢メモ〕	1975	8			書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁野紙 「50.8.頃」その他書込みあり
1186		早急に検討を必要とする事項 他				〔宝珠山昇〕	書類	ペン	1綴(4枚)	防衛庁野紙 4次防の展望(案)〔昭和〕43.11.15/4次防の展望(検討資料)〔昭和〕44.3.25/計画作成の手順
1187		(二)F-4E採用決定の経緯理由 (〔項目別に編纂された国会会議録〕のコピー)					記事	コピー	1綴(3枚)	衆・内閣委 43.11.12 大出委員への増田国務大臣答弁 マーカーでチェックあり
1188		世界の動きと日本の安全	1974	12		防衛庁長官官房広報課	冊子	印刷物	1冊	
1189		世界の動きと日本の安全	[1975]			防衛庁	冊子	印刷物	1冊	
1190		領空侵犯及びそれに対処する措置に関する法制局の見解(三二・四・一六法制局における会議の席上、主として法制局次長が述べられた見解を中心として)					書類	コピー	1綴(9枚)	(付)池田文男「領空侵犯と国際法」(記事コピー) 別紙〔各国の状況表〕
1191		〔答弁資料〕「問32 「憲法上の自衛力の限界」と「平和時の防衛力の限界」との関係いかなん。」					書類	コピー	1綴(4枚)	「宝珠山」印あり (付)〔資料〕内閣法制局野紙 「48.3.16 早坂参事官案」と書込みあり
1192		〔答弁資料〕「(問4)将来兵器論として、精密誘導兵器(PGM)についての見解を問う。」	1976	4	23		書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 衆・外 51.4.23 永末英一(民)

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1193		〔答弁資料〕 「(問2)バックファイヤーについての見解及び対処いかん」	1976	4	23		書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 衆・外 51.4.23 永末英一(民) (付)〔ファントムとバックファイヤー比較〕
1194		一 防衛についての基本的問題点 他					〔冊子〕	コピー	1綴(13枚)	
1195		〔答弁資料〕 「問一 四九年度航空自衛隊総合演習はどういう想定の下に策定されたのか。」「問二 仮想敵国はどこにおいたのか、仮想敵国のない演習は無意味ではないのか。」「問三 緑国から供与を受けることになっている物品はどのようなものか。核兵器が入っているのではないか。」「問 米国からの来援をどのように考えているのか。」(防・運)	1975	2	21		書類	コピー	1綴(5枚)	防衛庁野紙 (想定)衆・予委・五〇・二・二一 檜崎弥之助(社)
1196		〔答弁資料〕 「問一〇 新しい長期経済計画が現在なお検討中であるにもかかわらず四次防が決定されたのはなぜか。」					書類	コピー	1綴(3枚)	(付)48.2.13 閣議決定 経済社会基本計画〔抜粋〕
1197		〔答弁資料〕 「問 自衛隊の災害派遣に要した経費を請求する考えはないか」(防・運経・監)	1975	1	30		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁野紙 (想定)衆・予算委員会・五〇・一・三〇 江田(社) (参考)水島重油流出事故災害派遣状況(1月28日現在) 書込みあり
1198		〔答弁資料〕 「問1 ソ連太平洋艦隊の編成・作戦目的について問う」「問2 北方領土及び千島にあるソ連の軍事基地の実状について問う」(防・調二)	1976	1	31		書類	コピー	1綴(6枚)	防衛庁野紙 51.1.31 衆予委 対長官 小林進
1199		〔答弁資料〕 「問一 ソ連太平洋艦隊の現状について問う」「問二 ソ連艦艇の日本海、太平洋における行動、通峡状況について問う」「問三 ソ連航空機のが国周辺における活動状況について問う」「問四 米ソ海軍のインド洋における行動について問う」「問五 ソ連の情報収集船の活動について問う」「問六 ソ連のICBM・SLBMの太平洋向け実験について問う」(防・調二)	1975	2	6		書類	コピー	1綴(12枚)	防衛庁野紙 (想定)衆・予算委 五〇・二・六 岡田春夫(社)

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1200		〔答弁資料〕「問4 最近英国では、インフレと国際情勢の変化によって安全保障政策の大転換を行なう報道があるが見解いかん。」 「問5ノ(1) 第十雄洋丸撃沈の経緯いかん。」 「問5ノ(2) 多大な経費と日数を要し手こずっているこのような自衛隊では、国民の負託に答(マ)えられないのではないか。」	1974	12	6		書類	コピー	1綴(12枚)	防衛庁罫紙 「49.12.6・衆・内・受田(民)」と書込みあり (付) 「衆・内閣委 四九・十二・五 受田(民)」と書込みあり
1201		〔答弁資料〕「問1 平時編成とは何か。諸外国においてこのような編成をとっている例はあるか。また自衛隊は平時編成か。」(防・防)	1974	12	23		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 参・予 49.12.23 上田(社) 想定
1202		〔答弁資料〕「問2-2 陸上自衛隊十八万人体制は、募集難のため一割以上の欠員があり、この状態は四次防においても改善される見込みはないと聞くが、いっそ平時編成に切り変(マ)えたらどうか」(防・防)	1974	12	23		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁罫紙 参・予 49.12.23 上田(社) 想定
2 手持資料 国会想定問答 (1985年頃)										
1203		答弁資料「問 大綱の水準は、質の面からは弾力的なものであり、従って水準の達成が1%枠に優先することになれば、とめどがなく防衛費が拡大していくことになるのではないか。」(防・防)					書類	コピー	1綴(4枚)	「防衛課長 60.3.11」朱印あり 「対 志 苦」との書込みあり (付)(参考1)52年防衛白書 p.79(3)基礎的防衛力の質／(参考2)防衛力の整備内容のうち主要な事項の取扱いについて(昭和51年11月5日国防会議決定閣議決定) 貼付された付箋に「手持資料 国会想定問答(昭60頃)」とある
1204		答弁資料「問 総理は、「防衛計画の大綱」の達成期間について、策定当時考えていた期間として、5年とも10年ともとれる答弁をしている。この点について、今一度明確にされたい。」					書類	コピー	1綴(4枚)	「60.2.21 椎名素夫(自)」との書込みあり (付)「防衛計画の大綱」達成期間に関する発言(自民党防衛力整備小委員会における講演議事録)「部内限り」朱印あり
1205		答弁資料〔防衛計画の大綱と防衛費GNP1%枠に関する答弁部分のみ〕(防・防)					書類	コピー	1枚	「防衛課長 60.3.11」朱印あり
1206		答弁資料「問 政府は大綱の早期達成というが、大綱とGNP1%枠は密接に結びついている。GNP1%枠を守りながら大綱達成を図るべきであり、そのためには大綱達成が少々遅れても問題ないではないか。」					書類	コピー	1綴(3枚)	「60.2.2」と書込みあり
1207		〔英語の略称〕				〔宝珠山昇〕	書類	ペン	1枚	防衛庁罫紙 「ウィメックス(WWCCS)」 「NCA」の正式名称

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1208		答弁資料「問2「節度ある防衛力」とは、どういうものか」「問3「軍事大国にならない防衛力」「近隣諸国に脅威を与えない防衛力」とは何か。」					書類	コピー	1綴(3枚)	「防衛課長 60.2.13」朱印あり
1209		答弁資料「問 中曽根総理は「節度ある防衛力のあり方」といつているが、加藤防衛庁長官は、どのようなものと受けとめているか。」(防・防)					書類	コピー	1綴(2枚)	(付)会議録 衆・本会議 55.10.7 鈴木総理答弁、衆・安保特昭55.10.21 大村国務大臣答弁
1210		答弁資料「問 日本の防衛問題には、「GNP1%という数字、あるいは兵器体系以前の問題がある。日本の防衛のためには何が必要かという問題である。そういう意味において防衛戦略体系の基本を洗えというのは示唆に富む。その上に立って国民的理解を得て、文民統制を完璧に行っていくことが、これからの大きな仕事である」との趣旨の中曽根総理の考え方(60.1.29衆・本)について、どう受け止めているか。」					書類	コピー	1綴(2枚)	
1211		答弁資料「問1 GNP1%の閣議決定の意味を問う。「大綱」と同列の基本原則ではないはずだ。当面の政策として補完的に設定されたものではないか。」					書類	コピー	1枚	「防衛課長 60.2.13」朱印あり
1212		答弁資料「問 GNP1%の閣議決定の意味を問う。「大綱」は装備の歯止め、「GNP1%」は予算面の歯止めです車の両輪の関係ではないか。」(防・防)					書類	コピー	1綴(3枚)	
1213		答弁資料「問 今後の防衛力整備に当たっては、わが国の地理的特性にかんがみ、海、空重視を徹底し、陸上自衛隊は縮小すべきではないか。」(防・防)					書類	コピー	1綴(3枚)	
1214		答弁資料「問 「防衛計画の大綱」とGNP1%枠は直接関係するものではないと答弁し、一方では、GNP1%枠は大綱に従って防衛力整備を進めるに当たっての各年度の経費の「めど」を示したものと、大綱と直接関係することを認めている。矛盾するではないか。」(防・防)					書類	コピー	1綴(2枚)	(付)会議録 参・予算委 59.3.17 栗原国務大臣答弁 衆・内閣委 55.11.4 鈴木総理答弁

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1215		答弁資料(大臣答弁)「問3 五九中業は、海空重視の方針というが、それは大綱別表の枠内で行うのか」	1985	2	14		書類	コピー	1綴(2枚)	「防衛課長 60.2.14」朱印あり 「衆・予算委 二見伸明君(公)」とあり マーカーでチェックあり
1216		答弁資料(想定 長官答弁)「問3 防衛費の対GNP比1%以内というのは軍事大国とならない防波堤であり、軍拡に対する強力な歯止めとなっておるので、あくまで堅持すべきと考えるがどうか。」「問4 GNP1%枠は軍事大国にならない精神で決められたものという長官発言について問う。」「問5 昭和51年の1%についての閣議決定にある「めど」の意味を問う。」「問6 各種の世論調査では、国民はいずれもGNP1%堅持の意向を示している。この国民の考えは尊重されるべきではないか。」(防・防)		2	5		書類	コピー	1綴(9枚)	「衆・予算委 矢野絢也君(公) 松本善明君(共)」とあり (付)(参考1)会議録 参・予算委 59.3.15 峯山昭憲(公)質問
1217		答弁資料(古川参事官答弁)「問「防衛計画の大綱」策定当時と比ベソ連軍の増強等により国際軍事情勢は厳しくなっている。従って大綱が前提としている国際情勢は変化しているのではないか。」(防・調2)					書類	コピー	1綴(3枚)	「上田関連想定」とあり (付)(参考)「防衛計画の大綱」(抜粋)2. 国際情勢
1218		昭和三十八年度統合防衛図上研究(三矢研究)について 衆・三矢小委 参・予算委 四〇、三、一〇 提出(不明刊行物部分コピー)						コピー	1綴(4枚)	
3 防衛課長手持資料(1985～1986年頃)										
1219		表紙					書類綴		2枚	もと1220～1280を綴じていた 表題「防衛課長手持資料 昭和60～61年頃」 「宝珠山」印あり
1220		防衛関係費対GNP比及び一般会計歳出比〔表〕					書類	コピー	1枚	
1221		偵察警戒車の価格等について	1986	8	28		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 書込みあり
1222		内閣委調査室 木寺調査員の説明要求に対する電話回答〔表〕	1986	12	8		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1223		物件費の推移〔表〕					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1224		米国防省報告「同盟諸国の防衛責任負担」における日本の防衛費の実質伸率について	1986	12	24		書類	コピー	1枚	「防衛課長 61.12.24」印あり 「担当者から内々に入手の情報。公式使用の了解は得ていないもの。主計官へ」と書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1225		62' GNPデフレーターを用いた中期計画進捗率の算定について	1986	8	5	防・計	書類	コピー	1枚	書込みあり
1226		自衛官充足状況〔表〕	1986	7	31		書類	コピー	1枚	書込みあり
1227		統幕研究の成果(61年3月防衛庁長官へ報告)	1986	3			書類	コピー	1枚	書込みあり
1228		主要国の防衛費に占める研究開発費の割合〔表〕					書類	コピー	1枚	供覧印あり 1985会計年度で比較
1229		〔海上自衛隊艦船資料〕					書類	コピー	1綴(11枚)	防衛庁用箋 〔護衛艦種別一覧〕／護衛艦系列の推移／護衛艦船型の変遷／海上自衛隊潜水艦の変遷／海上自衛隊掃海艇の変遷／魚雷の変遷／護衛艦の系譜(1984. 7. 27)／潜水艦の系譜(1985. 3. 5)／ミサイル装備艦の推移(就役ベース)
1230		ソ連航空機世代区分の特徴〔図〕					書類	コピー	1枚	「秘」印あり
1231		2 主要装備の変遷〔航空自衛隊〕					書類	コピー	1枚	「秘」印あり
1232		弾薬庫保有棟数(60'末)〔表〕	1986	2	6		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 「手持ち用」 「経・施 61. 2. 6」とある マーカーでチェックあり
1233		財政均衡化法(グラム・ラドマン法)に関して国防費削減に反対するレーガン大統領の発言について 米-60-49	1985	12	25	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(6枚)	防衛庁罫紙 「注意」朱印あり (参考)財政均衡化法の骨子
1234		答弁資料「問 今回の政府計画ではAEGIS艦を導入するのか」(防・計)(防・防)					書類	コピー	1綴(5枚)	(付)参考資料
1235		米海軍のAEGIS艦の概要について					書類	コピー	1枚	資料源：「ジェーン年鑑」等
1236		(参考1)米海軍の導入計画(根拠：FY1986米国防報告等)	1985	4	5		書類	コピー	1枚	「防衛課長 60. 4. 5」印あり
1237		AEGIS艦について					書類	コピー	1枚	書込みあり
1238		〔答弁資料〕「問2 現在、作成作業中の五九中業では、次の事業をどのように考えているのか(1)陸自(2)海自(3)空自」	1985	3	11		書類	コピー	1綴(7枚)	(問5関連想定)(防衛局長答弁)60. 3. 11 参・予算委 志苦裕君(社) 書込みあり
1239		訓練用弾薬等の年間射耗概要(予算ベース)	1985	2	8		書類	コピー	1綴(6枚)	防衛庁罫紙 「(60. 2. 8)」 「以下注意」と書込みあり (付)参考資料
1240		昭和61年度日米共同演習(実動演習)の構想(案)					書類	コピー	1枚	
1241		潜水艦の魚雷USMの発射方法					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1242		(表3)本土防空のための主要装備整備計画	1985	12	5		書類	コピー	1綴(2枚)	「提出資料 60. 12. 5」と書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1243		(表5) 着上陸侵攻対処のための主要装備整備計画					書類	コピー	1枚	
1244		(表7) 基地防空火器等の整備状況					書類	コピー	1枚	
1245		日本/NATOの対潜機比較について [表]					書類	コピー	1綴(2枚)	
1246		研究開発線表	1985	8	22		書類	コピー	1綴(2枚)	「60.8.22 開計より受」とある
1247		研究開発線表(61' 歳出化分)					書類	コピー	1綴(2枚)	
1248		61' 予算概算要求に係る主要研究項目					書類	コピー	1綴(3枚)	
1249		為替レート変動による中期計画の伸率の変化					書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり (付)「防衛関係費及び物件費に占める為替対象額のシェア」防衛庁罫紙 会計課資料
1250		衆・特別委第3調査室(安保)浦田調査員への回答(案)					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 「供覧印」あり 書込みあり
1251		五三中業、五六中業の達成状況について					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 「供覧印」あり 書込みあり
1252		別紙2 ホークの能力比較					書類	コピー	1枚	書込みあり
1253		[主要装備の調達数 表]					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」印あり 61予算案の調達数
1254		経費規模	1985	9	25		書類	コピー	1綴(2枚)	(付)公表用
1255		中期計画正面経費総表(契約ベース)(歳出ベース) 60' 価格	1985	10	4		書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1256		装備(陸上自衛隊 海上自衛隊 航空自衛隊)					書類	コピー	1綴(5枚)	「指定前秘密」印あり 書込みあり
1257		[中期計画における主要装備品の整備量・完成時勢力の推移 陸自・海自・空自]					書類	コピー	1綴(4枚)	「指定前秘密」印あり
1258		後方事項別事業見積り					書類	コピー	1綴(9枚)	「注意」印あり (1)情報警戒監視 (2)指揮通信 (3)継戦能力 (4)抗たん化 (5)人事・衛生 (6)教育訓練 (7)施設 (8)研究開発
1259		「中期防衛力整備計画」の主要整備の概要					書類	コピー	1綴(35枚)	防衛庁罫紙 「注意」朱印あり (空自)1.F15 2.E2C 3.ペトリオット(海自)4.P3C 5.MH-53E (陸自)6.SSM (共通)7.その他の事業 マーカーでチェックあり
1260		中期防衛力整備計画における弾薬の整備					書類	コピー	1綴(3枚)	1 弾薬購入費 2 弾薬整備の内容 弾薬備蓄の向上 59中業弾薬合計金額 書込みあり
1261		中期防衛力整備計画において「検討」事項とされているものの経費計上					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1262		〔答弁資料〕(防衛局長答弁)「問2 期間内の所要経費を約18兆4,000億円としているが、P-3C及びF-15の整備に伴う経費、OTHレーダー及びエイジス艦の検討に要する経費を問う。」	1985	10	8		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁罫紙 60.10.8 衆・安保特委 東中光雄君(共) (付)参考資料書込みあり
1263		〔答弁資料〕(防衛局長答弁)「問3 「大綱」水準達成を図る上で、海空を重視したものとなっているか。」	1985	10	8		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 60.10.8 衆・安保特委 中川昭一君(自)
1264		〔答弁資料〕(防衛局長答弁)「問7 今回の計画では、これまでその整備が遅れていた継戦能力、抗たん性の向上について、どのように向上させることとしているのか。」	1985	10	8		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 60.10.8 衆・安保特委 中川昭一君(自)
1265		〔答弁資料〕(防衛局長答弁)「問8 隊員の練度やその生活環境等についての施策はどのように計画されているのか。」	1985	10	8		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁罫紙 60.10.8 衆・安保特委 中川昭一君(自) (参考1)戦闘機パイロットの飛行時間の増大 (参考2)隊員の処遇改善
1266		〔答弁資料〕(防衛局長答弁)「問9 総経費18兆4000億円の内訳、対GNP比はどうなっているのか。これまでの防衛費の規模と比べて相当大きいものなのか。」	1985	10	8		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 書込みあり 60.10.8 衆・安保特委 中川昭一君(自) (参考)1 正面、後方、人糧費のシェアの過去の状況 2 中期防衛力整備計画1とGNP1%(60価格)3 五六中業正面経費
1267		〔答弁資料〕(防衛局長答弁)「問10 正面と後方のバランスを図るとしているが、経費の面からも後方関係について十分配慮されたものとなっているのか。」「問 中期計画における陸海空自衛隊の後方事業の概要を問う」	1985	10	8		書類	コピー	1綴(4枚)	防衛庁罫紙 書込みあり 60.10.8 衆・安保特委 中川昭一君(自)
1268		〔海上自衛隊艦船〕					書類	コピー	1綴(3枚)	CG-47級、DDG-51級、DDG(4500トン型)の各写真・性能諸元
1269		次期支援戦闘機(FS-X)					書類	コピー	1綴(2枚)	F-1推移見積り/戦闘機の対地支援能力等比較
1270		潜水艦の定期検査間隔延伸の実艦試行に伴う検査、修理費等の必要性					書類	コピー	1枚	「注意」印あり 昭和60年度概算要求説明資料(海上幕僚監部：第5分冊)関連部分
1271		〔答弁資料〕(参考)P-3C システム					書類	コピー	1枚	矢野関連問1-6
1272		7 ASWOCの機能〔図解〕					書類	コピー	1枚	書込みあり
1273		〔答弁資料〕(参考2)戦闘機の対地支援能力等比較	1985	3	19	装備局航空機課	書類	コピー	1綴(2枚)	馬場問4関想2-3、2-4
1274		現有戦闘機の性能諸元					書類	コピー	1枚	
1275		現有戦闘機の対地攻撃能力					書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1276		〔答弁資料〕(参考2)E-2CとE-3Aの性能比較				防・防作成 防・調2装航調査課	書類	コピー	1枚	日笠問6閑想問3-3
1277		MK-60 CAPTORについて					書類	コピー	1枚	資料源：ジェーン兵器年鑑等
1278		新自由クラブ政策委員尾形氏への提出資料	1987	2	28		書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 「62.2.28」と書込みあり F-1耐用命数関連
1279		別紙第1 通信バッファシステムの構成及び所要整備員数					書類	コピー	1枚	
1280		〔答弁資料〕(参考2)沿岸監視隊(陸)及び警備所(海)の概要 (参考3)海自の艦艇・航空機による監視					書類	コピー	1枚	矢田部問4-6
手許参考資料										
1 その時々の手持参考資料(1961～1989年)										
										挟まれた紙に「その時々の手持参考資料」とあった
1281		国連の平和維持活動と日本の対応 戦略研究シリーズ(VOL. 35)	1989	4		河津幸三郎(日本戦略研究センター理事・元 西部方面総監)	冊子	印刷物	1冊	日本戦略研究センター発行
1282		〔兵力の配備・運用等を2次防と3次防で比較した表〕					書類	コピー	3枚	「極秘」と印字あり 書込みあり
1283		審議資料「思考過程からみた長期と中期の関連性」	[1961]	[10]	[31]		書類	青焼	1枚	「取扱い注意」と印字あり 書込みあり
1284		第9回幹部OR集合教育開講に際し訓示	1969	3	27	中山平八郎(教育担任官・幕僚幹事・陸将補)	書類	印刷物	1綴(2枚)	書込みあり
1285		米国と西太平洋自由圏諸国との条約中沖縄に関係ある条項 抜粋					書類	コピー	2枚	
1286		「現代軍艦論ノート(9)」(〔掲載誌不明〕記事コピー)				堀元美	記事	コピー	1綴(4枚)	
1287		「世界の兵器の現状とその趨勢 水雷兵器(機雷)」(『兵器と技術』記事コピー)	1968	8		萩原旻四(京三製作所兵器部)	記事	コピー	1綴(4枚)	
1288		〔ORに関する説明資料〕					書類	青焼	1綴(2枚)	海上幕僚監部野紙
1289		国防会議議員懇談会 国防会議議事記録	1966	11	29		書類	コピー	1綴(8枚)	防衛庁野紙
1290		第三次防衛力整備計画(案)の概要					書類	印刷物	1綴(5枚)	書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1291		[解説図]					書類	青焼	1綴(3枚)	ナイキ中隊対空射撃の機能図/SAM有効圏/ナイキ-A, J効力圏比較図 書込みあり
1292		第三次防衛力整備計画(案)について					書類	印刷物	1綴(6枚)	書込みあり
1293		情勢判断資料(第2次案) 目次 [のみ]					書類	印刷物	1綴(10枚)	「取扱注意」朱印あり
1294		[武器・装備に関する概説]					書類	コピー	1綴(7枚)	「極秘」と印字あり
1295	1	第104国会の主要防衛論議 [表]					書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1295	2	第104国会の主要防衛論議(関係主要議事録等)					書類	コピー	1綴(41枚)	防衛庁罫紙
1296	1	[防衛費の各種比較 想定問答用カ]					書類	コピー	1綴(3枚)	
1296	2	防衛費は突出か	1985	3	12	会計課	書類	コピー	1綴(13枚)	浦野侏興議員(自)説明資料 「防衛課長印」あり 書込みあり
1296	3	経理局長答弁「問7 61年度の歳出化額と人件費の見込額を問う。それは60年度防衛関係費をどの程度押し上げることになるのか。」	1985	1	31		書類	コピー	1綴(2枚)	衆・予算委 堀昌雄議員(社) 書込みあり
1296	4	60'後年度負担額23,058億円の年割予定額(正面 後方別) [表]					書類	コピー	1綴(2枚)	和田静雄議員(参・社)要求資料 (付)「公債の推移」 書込みあり
1296	5	(参考1) 退職人員及び退職手当等の推移 [表]					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 堀問8-4 マーカーでチェックあり
1296	6	各国国防費(除く人件費)					書類	コピー	1枚	渡部一郎議員(衆・公)要求資料 書込みあり
1296	7	[防衛関係費説明のための各種資料]					書類	コピー	1綴(48枚)	
1297	0	PPBS関係手持資料(昭45年頃)					書類綴		1点	
1297	1	米国防省のプラン・プログラム・予算作成のプロセス					書類	青焼	1綴(13枚)	「宝珠山」朱印あり 「昭和48~49年」と書込みあり
1297	2	The Planning-Programming-Budgeting system and systems Analysis in the U.S. Department of Defense	1969	11	6	Charles O. Rossotti	書類	コピー	1綴(16枚)	ワシントンDCのJapan Defense Societyで行われた筆頭国防次官補(システム分析担当)のスピーチ
1297	3	米国防省におけるPPBSの現況と教訓 部内参考資料第45-1号	1970	5		防衛庁経理局会計課システム分析室	冊子	印刷物	1冊	
1297	4	PPBSについて 部内参考資料第44-1号	1970	1		防衛庁経理局会計課システム分析室	冊子	印刷物	1冊	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1297	5	Planning Programming Budgeting Cycle 〔図〕					書類	コピー	1枚	書込みあり
1297	6	[Planning Programming Budgeting Cycle(1970)に関する米国防省作成資料]					書類	コピー	1綴(11枚)	「1970年4月2日国防省訪問時入手」と書込みあり
1297	7	[Planning Programming Budgeting System の1970年進行管理表]					書類	コピー	1綴(5枚)	
1297	8	〔関連英語論文〕					記事	コピー	1綴(13 枚)	「Defense Management After McNamara」armed forces Journal 8 February 1969 「DCP DOD's Anonymous Management Tool」〔Armed Forces Management〕1968.11 「Defense Reverses PPB Process」 Armed Forces Management 1970.2 〔論題不明〕Armed Forces Management 1969.10 書込みあり
2 防衛構想(1968～1981年)										
1298		空ファイル					書類綴		1点	もと1299～1306を綴じていた 表題「防衛構想」(「防衛局計画官時代」) 「宝珠山」朱印あり
1299		日露戦争以後における 国防方針、所要兵力、 用兵綱領の変遷 上・下(『軍事史学』 記事コピー)	1973	3		島貫武治	記事	コピー	1綴(26 枚)	「軍事史学第8巻第4号(48.3)」と書込みあり 「宝珠山」朱印あり
1300		「シーレーン防衛とは何か」(〔掲載誌不明 記事コピー)				大賀良平	記事	コピー	1綴(10 枚)	「昭.57.9頃サンケイ□」と書込みあり (付)「精密誘導兵器P GM 衝撃の威力」『読売新聞』1982.5.12記事コピー
1301		ベトナム戦争 北爆再開からウ・タント提案 まで(『中央公論』記事切抜)	1968	3			記事	印刷物	1綴(9 枚)	「『中央公論』昭和43年3月特大号」と書込みあり
1302		シーレーンの安全保障 ー情報システムの整備 を急げー(『国防』記事コピー)	1982	6		阿曾沼廣郷	記事	コピー	1綴(19 枚)	「国防 五七・六月号」と書込みあり
1303		80年代のわが国の安全保障 ー戦争を発生させ ないための戦略ー(不明刊行物部分コ ピー)				山際敏	記事	コピー	1綴(22 枚)	「防衛局計画官 56.7.4」朱印あり 書込みあり
1304		西側の安全保障 何が変化したか何をなすべ きか 上・下(『世界週報』記事コピー)	1981	4			記事	コピー	1綴(11 枚)	「防衛局計画官 56.6.9」朱印あり 書込みあり、マーカーでチェック あり (付)「記者の目 首相訪欧でなに学ぶ」新聞記事(55.6.5 M m と 書込みあり)
1305		日本の防衛政策 海空自衛隊の質的改善を (『世界週報』記事コピー)	1981	6	16	ウィリアム・L・ スカリー／ガイ・ M・ヒックス	記事	コピー	1綴(6 枚)	書込みあり マーカーでチェックあり
1306		講義資料72LC, 基-9 安全保障の理論と実際	1972				冊子	印刷物	1冊	講義と質疑応答を採録したもの マーカーでチェックあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
3 〔参考資料〕(1974～1982年)										
1307		空ファイル					書類綴		1点	もと1308～1315を綴じていた
1308		研究覚書 国防体制と軍事体制(三)(『軍事研究』記事コピー)	[1978]	[11]		原田稔(退役空将)	記事	コピー	1綴(4枚)	「五三年十一月号」と書込みあり
1309		「憲法9条」を柔軟に解釈し集団的自衛権行使も合憲に 佐藤東大教授主張(『サンケイ』)記事コピー)／集団的自衛権は合憲 佐藤東大教授が新見解 憲法九条を柔軟解釈(『信濃毎日新聞』記事コピー)	1981	4	24	[産業経済新聞東京本社]／信濃毎日新聞社	記事	コピー	1綴(2枚)	
1310		安全保障政策企画委員会(最近の討議のとりまとめ)	1982	10		安全保障政策企画委員会	[冊子]	印刷物	1綴(25枚)	表紙に「秘 公表まで」朱印あり→「10月8日Press 10日付朝刊」目次下に作成の実質的理由、その他書込みあり
1311		日米共同声明(全文) 5月8日(『世界週報』記事コピー)	1981	5	26	時事通信社	記事	コピー	1綴(2枚)	
1312		米国レーガン新政権に関する有識者調査のお願い	1981	2	15	(財)国際科学振興財団 80年代ビジョンの会	書類	印刷物	1綴(2点・2枚)	質問票・回答用紙 マーカーでチェックあり、回答記入あり (付)記事コピー「施政方針演説 鈴木首相」『サンケイ新聞』(1981.1.26)／「就任演説の全文 レーガン米大統領」『日本経済新聞』(1981.1.21)
1313		電子戦に関する資料集 空防研第49-2号	1974	2		航空幕僚監部	冊子	印刷物	1冊	No.「067」印あり 「注意」と印字 マーカー等でチェックあり
1314		電子情報に関する1読要約説明資料					書類	コピー	1綴(8枚)	書込みあり
1315		[電子戦と電子情報に関する説明資料]	1975	6	19	[防衛局]調査第2課	書類	青焼	1綴(13枚)	「注意」朱印あり 「51.3.31までに破棄」印あり マーカーでチェックあり
4 〔参考資料〕(1976～1990年)										
1316		空封筒				防衛庁	書類綴		1点	もと1317～1325を入れていた
1317	1	「防衛計画の大綱」について	1989	2	3		書類	コピー	1綴(4枚)	「1」とナンバリングあり 書込みあり
1317	2	日米安保体制と在日米軍の意義について	1989	2	3		書類	コピー	1綴(4枚)	「2」とナンバリングあり 「施設庁作成資料」と書込みあり
1317	3	共同作戦計画についての研究について	1989	2	3		書類	コピー	1枚	「3」とナンバリングあり
1317	4	在日米軍駐留経費負担について	1989	2	3		書類	コピー	1綴(3枚)	「4」とナンバリングあり 書込みあり
1317	5	防衛関係費と国の他の主要経費との比較	1989	2	3		書類	コピー	1綴(5枚)	「5」とナンバリングあり 書込みあり
1317	6	防衛費の国際比較	1989	2	3		書類	コピー	1綴(5枚)	「6」とナンバリングあり 書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1317	7	次期戦闘機について(内定)	1976	12	9		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 庁議決定
1317	8	海上・水際火力打撃構想					書類	コピー	1枚	彩色図(モノクロコピーに彩色した)
1317	9	米ソINF射程図 他(〔東京新聞〕記事コピー)				[中日新聞東京本社]	書類	コピー	1枚	
1318		緊張緩和の楽観論に警鐘—西広防衛次官がお別れ記者会見—(〔掲載誌不明〕記事コピー)					記事	コピー	1枚	
1319		対独戦勝45周年記念集会におけるゴルバチョフ演説(1990. 5. 8)—現在のソ連軍事力に関する部分の仮訳—	1990	5	18		書類	コピー	1綴(3枚)	「防衛局調査第2課」印あり (付)対独戦勝45周年記念軍事パレードにおけるヤソフ国防相演説(1990. 5. 9)—現在の国際情勢とソ連軍に関する部分の仮訳—
1320		米英同盟の厳しさに学べ(『正論』記事コピー)	1988	8		田久保忠衛(杏林大学教授)	記事	コピー	1綴(5枚)	
1321		“アメリッポン”による世界戦略(特集 いま問われるアメリカの政治力)(『中央公論』記事コピー)	1988	9		Z・ブレジンスキー	記事	コピー	1綴(10枚)	
1322		日米関係をどう建て直す(〔掲載誌不明〕記事コピー)				ハロルド・ブラウン(元米国防長官)	記事	コピー	1綴(11枚)	
1323		「アメリカは没落するのか」上下(『エコノミスト』記事コピー)	1987	11		ポール・ケネディ	記事	コピー	1綴(13枚)	書込みあり
1324		私論軍備の民営移管 1~4・補考(『世界日報』記事コピー)	1984	9~11		占部弘	記事	コピー	1綴(7枚)	(付)提言 装備部品のリースは可能 占部弘/軍備民営移管論の意義 栗栖弘臣
1325		声のひろば「軍備民営移管補考論に反論する」(『世界日報』記事コピー)	1984	10	21		記事	コピー	1枚	
5 情勢判断参考資料(1977~1978年)										
1326		空ファイル					書類綴		1点	もと1327~1343を綴じていた 表題「情勢判断参考資料 昭和52-53年」
1327		「これがアメリカの超高速艦隊だ！」(〔『リーダーズダイジェスト』〕記事コピー)	1977	10			記事	コピー	1綴(3枚)	
1328		ロサンゼルス世界問題協議会におけるハロルド・ブラウン米国防長官の演説(『WIRELESS BULLETIN』記事コピー)	1978	2	20	米国大使館広報文化局報道部	記事	コピー	1綴(11枚)	書込みあり
1329		『海外国防資料』 海軍力を計る基準	1977	10	5	監修:防衛庁防衛局調査第一課 委託編集:財団法人ラヂオプレス	雑誌	印刷物	1冊	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1330		『海外国防資料』 日本の国防	1977	10	31	監修:防衛庁防衛局調査第一課 委託 編集:財団法人ラヂオプレス	雑誌	印刷物	1冊	
1331		PRM-10について					書類	コピー	1綴(8枚)	防衛庁罫紙
1332		カーター米大統領の「核使用」に関する国連発言について	1977	10	5	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(6枚)	防衛庁罫紙
1333		別紙 First strike, First use についての米国の考え方				防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(25枚)	防衛庁罫紙
1334		欧州共産党会議について(I)	1976	6	28		書類	コピー	1綴(15枚)	
1335		『海外国防資料』 西ドイツとNATOの防衛政策	1978	3	15	監修:防衛庁防衛局調査第一課 委託 編集:財団法人ラヂオプレス	雑誌	印刷物	1冊	
1336		『海外国防資料』 ソ連の軍事概観	1977	9	30	監修:防衛庁防衛局調査第一課 委託 編集:財団法人ラヂオプレス	雑誌	印刷物	1冊	
1337		昭和52年12月23日能登沖に接近したソ連機TU-16(バジャール)積載していた新型ミサイルについて	1978	1	31		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 防衛局長手持資料(参・予53.1.31 秦豊問6関連)
1338		SALT-1協定の期限「延長」と今後の見通し	1977	10	3	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(12枚)	書込みあり
1339		低成長下の総合安全保障(〔掲載誌不明〕記事コピー)				村上薫	記事	コピー	1綴(23枚)	書込みあり
1340		FY79米国防報告におけるF-15及びP-3言及箇所仮訳					書類	コピー	1綴(5枚)	防衛庁罫紙
1341		太平洋・アジアの安保堅持で協議—ブラウン国防長官ハワイ記者会見—ワシントン 1978年2月21日 USIS (〔掲載誌不明〕記事コピー)	1978	2	25		記事	コピー	1綴(20枚)	「防衛局調査第2課 53.2.25」印あり
1342		『海外国防資料』 覇権主義をめぐる中ソ論争	1978	1	30	監修:防衛庁防衛局調査第一課 委託 編集:財団法人ラヂオプレス	雑誌	印刷物	1冊	
1343		「新春特別企画 日本の防衛」 「着々と進む日米共同作戦計画」 藤井治夫 他(『月刊日本』記事コピー)	1978	1		政策時報社	記事	コピー	1綴(16枚)	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
6 情勢判断参考資料(1979～1980年頃)										
1344		表紙					書類綴		2枚	もと1345～1396を綴じていた 表題「情勢判断参考資料 昭和54～55年頃」 「調査第2課長 54.11.30」印及び「宝珠山」印あり
1345		SHIP DESIGNATIONS (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	資料源: JANE'S FIGHTING SHIPS 1980-81, 目次p. 143
1346		TABLE II-5. PRODUCTION SUMMARY OF SELECTED TACTICAL WEAPONS FOR NATO AND WP COUNTRIES (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	FY81ペリー国防次官(研究・技術担当)報告(80.2.1) 貼付: 『ディフェンス・ディリー』記事コピー マーカーでチェックあり
1347		〔ソ連輸送機関係〕 (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	「Payload/range performance of Soviet transports」他 書込みあり
1348		〔バックファイヤに関するデータ〕					書類	コピー	1枚	刊行物から資料を切貼
1349		ソ連機の東・南シナ海方面飛行	1979～1980				書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 「調査第2課長 55.4.22」印あり 書込みあり
1350		米ソ核戦争防止協定					書類	コピー	1枚	1973.6.22 ワシントンで調印
1351		SHIP DESIGNATIONS (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	資料源: JANE'S FIGHTING SHIPS 1980-81, 目次P. 143 (1345と同文)
1352		〔軍用機・軍艦用語解説〕 (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(2枚)	
1353		米国及英国ニ対スル宣戦ノ詔書 昭和十六年十二月八日(官報) (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	
1354		第29回、第30回国連総会における表決結果・第30回国連総会で採択された決議案 (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(3枚)	(参考)国連第1委員会における朝鮮問題討議(75.10.30)
1355		ソ連空母「ミンスク」の行動					書類	コピー	1枚	書込みあり
1356		わが国周辺におけるソ連艦艇・軍用機の行動概要					書類	コピー	1枚	書込みあり
1357		ソ連潜水艦の三海峡通峡(浮上航行のもののみ)ノソ連艦艇の三海峡通峡					書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 「取り扱いに特に御注意下さい」印あり 書込みあり
1358		ソ連自国のSSBNを防護するための能力の向上ノ米国のSSBNに対する対潜能力の向上					書類	鉛筆	1枚	防衛庁野紙
1359		「戦闘用の兵器を除き補給、連絡装備はOK」 (『毎日新聞』記事コピー)	1980	4	3	毎日新聞社	記事	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1360		ソ連のTu-95, IL-62のベトナム飛行について					書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 書込みあり (付)「注目集めた宮沢講演－同盟国の責任強調」(『朝日新聞』1980年4月2日 記事切抜)
1361		NATO軍とワルシャワ条約軍の軍事力(欧州正面)					書類	コピー	1枚	資料源: 1979/80 ミリタリーバランス等
1362		米ソの軍事戦略、日本の防衛論に関する文献リスト					書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙
1363		パレスチナ人の分布とPLOの組織					書類	コピー	1枚	
1364		Table IV Values of Arms Transfers Cumulative 1973-1977 (World Military Expenditures and Arms Transfers 1968-1977 の部分コピー)					記事	コピー	1枚	世界の軍事支出と武器移転 1968～1977 米軍備管理軍縮局 (1979年10月13日発表)
1365		米国の対中東軍事戦略(『Military Review』の邦訳 記事コピー)	1979	11		Joan Cameron	記事	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1366		「各種誘導方式の特徴とその具体例[表]」(『技術資料』第74号 記事コピー)	1975	10			記事	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1367		中ソ国境における軍管区別師団数	1980	3	17		書類	コピー	1枚	防衛庁野紙
1368		参議院玉置和郎議員要求資料 各種武器の性能等	1980	3			書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁野紙 防衛局長以下の供覧印あり 資料源: ジェーン武器年鑑等、価格は「1980ミリタリー・コスト・ハンドブック」による マーカーでチェックあり
1369		5. 東西関係(1)中欧相互均衡兵力削減交渉他(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(5枚)	書込みあり
1370		NATO軍事機構 [図]					書類	コピー	1枚	
1371		欧州連合軍指揮機構図					書類	コピー	1枚	
1372		大西洋連合軍組織図					書類	コピー	1枚	
1373		NATO軍・戦域区分 [図]					書類	コピー	1枚	
1374		NATO・大西洋連合軍 [図]					書類	コピー	1枚	
1375		別添資料4 米ソの軍事バランスについて					書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり (付)1965～1978年における米・ソの兵力推移 資料源: ミリタリー・バランス他
1376		SALT II 条約について					書類	コピー	1綴(5枚)	(付)SALT II 条約における戦略核発射手段の数的規制
1377		国境警備隊を保有している国	1980	3	14		書類	コピー	1枚	防衛庁野紙
1378		軍備を保有していない国	1979	3	27		書類	コピー	1枚	防衛庁野紙

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1379		(5)NATO北翼の防衛(NATO北翼における不安定な均衡-ソ連の大兵力の影で)					書類	コピー	1綴(5枚)	マーカーでチェックあり
1380		ノルウェー領スピッツバルゲン諸島へのソ連の圧力	1979	1	22		書類	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1381		空母の値段(とう載機を含まず)					書類	鉛筆	1綴(2枚)	防衛庁罫紙 (付)米空母について(刊行物の部分コピー)
1382		[ソ連爆撃機バックファイアのイルクーツク配備](『サンケイ新聞』/『東京新聞』)記事コピー)	1980	2	18	[産業経済新聞東京本社]/信濃毎日新聞社	記事	コピー	1枚	
1383		東欧の石油生産・消費・輸入高/ソ連の石油輸出入高	1979	7	25		書類	コピー	1綴(2枚)	資料源: CIA資料
1384		昭和42年(1967年)頃の中ソ対立の状況	1980	2	13		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1385		昭和42年(1967年)頃の中東軍事情勢					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1386		インドシナ情勢(ベトナム戦争)	1980	2	12		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1387		オケアン演習(70及び75)					書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁罫紙 (付)太平洋方面における状況
1388		[わが国周辺におけるソ連軍の動き](『防衛白書』の部分コピー)					記事	コピー	1綴(4枚)	「51年白書」等の書込みあり
1389		国際関係シンポジウム「80年代のアジア・太平洋地域における変化する米・中・ソ・日四大国関係」	1980	3	26	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(16枚)	防衛庁罫紙 「調査第2課長 55.3.27」印あり 3月24日開催のシンポジウムの記録 書込みあり
1390		80年代のアジア・太平洋地域における変化する4カ国関係	1980	3	26	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(8枚)	防衛庁罫紙 「調査第2課長 55.3.27」印あり 平和安保研研究会(3月25日 アメリカンセンターホール)の記録
1391		米ソ以外の核戦力、米ソの各戦力の破壊力、スローウェイトについて	1979	7	16	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(8枚)	防衛庁罫紙 書込みあり
1392		The current US strategic delivery vehicle capability 他(『SIPRI 1978年年鑑』記事コピー)					記事	コピー	2枚	
1393		世界のイスラム人口 (『国際情勢資料』記事コピー)					記事	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1394		北方領土の地誌(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(2枚)	
1395		問3 米軍が上げたという「デフコン」とはどのようなものか					書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1396		「米、太平洋への空母増強を検討」についてのコメント					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁野紙 「取り扱いには特に御注意下さい」印あり マーカーでチェックあり
7 [参考資料] (1980～1981年)										
1397		空ファイル					書類綴		1点	もと1398～1407を綴じていた
1398		デタント(緊張緩和)路線について(とりあえずのコメント)	1980	1	22	防衛局調査第2課	書類	コピー	1綴(17枚)	
1399		1. 「デタント」の現状と展望(12、33)	1981	3	25	外務省分析課	書類	コピー	1綴(8枚)	「国際情勢分析週報」56.3.25と書込みあり 「秘」と印字
1400		防衛問題関係(メモ)	1981	12	23		書類	コピー	1綴(8枚)	「用済後焼却」と印字 「政調会長TV用メモ」と書込みあり
1401		[参考資料]					書類	コピー	1綴(7枚)	資料12 防衛計画の大綱
1402		[参考資料]					書類	コピー	1綴(8枚)	資料13 主要各国の防衛費(1980年度) 書込みあり/資料3 主要各国兵力一覧(概数)/資料15 防衛関係費(当初予算)の推移/資料14 一般会計歳出(当初予算)の主要経費の推移/資料16 防衛関係費(当初予算)の構成比の変化/資料7 米ソ戦略核戦力の推移
1403		[米国防衛政策担当者の発言]					書類	コピー	1綴(5枚)	1981年11月4日ザブロッキ米下院外交委員長が議会で提出した日本の防衛努力を求める決議案(仮訳)/ザブロッキ下院外交委員長(民主党)(サンケイ新聞とのインタビュー 1981.11.23) 防衛庁野紙に切抜貼付 マーカーでチェックあり/インガソル元駐日大使(1972～73年)(毎日新聞とのインタビュー1981.9.8) 防衛庁野紙に切抜貼付 マーカーでチェックあり/ダンフォース上院議員(共和党) 防衛庁野紙 対日問題に関する立場分析
1404		[答弁資料] 「(問4)日米防衛技術の交流」	1981	12	21		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁野紙 56.12.21 衆・内閣委
1405		[防衛力の水準]					書類	コピー	1綴(4枚)	(資料)鈴木善幸総理大臣とロナルド・レーガン大統領との間の共同声明(抜粋)昭和56年5月8日(刊行物の部分コピー) /昭和58年度から昭和62年度までを対象とする中期業務見積り案の作成に際しての長官指示 長官指示第2号 56.4.28 マーカーでチェックあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1406		[日米防衛協力関係に関する新聞各紙の記事コピー]			10~12		記事	コピー	1綴(5枚)	「防衛費1%論 米の対日圧力強まる」『朝日』他各紙／「米上院 最大の国防予算可決」『毎日』他各紙 マーカーでチェックあり／「米議会の動き注視」『日経』他各紙 マーカーでチェックあり／「安保改定、上院に法案」『毎日』他各紙 マーカーでチェックあり／「軽視できぬ日米安保“見直し論”」『サンケイ』／「軍事技術の研究・開発 日米共同で促進」『朝日』他各紙 マーカーでチェックあり
1407		メキシコ報道関係者とのインタビュー用メモ	1981	10	7		書類	コピー	1綴(3枚)	宝珠山がインタビュー対象者 書込みあり
8 【参考資料】(1985～1988年)										
1408		空封筒				防衛庁	書類綴		1点	もと1409～1429を入れていた
1409		[日米防衛協力関係資料 表]	1988	1	19		書類	コピー	1綴(5枚)	日米防衛首脳会談における主要事項(抜粋)(於ワシントン)／近年の日米防衛関係の主要協議の開催状況等(昭和50年～63年)／日米防衛協力のための指針に基づく研究／日米防衛協力のための指針の概要 書込みあり
1410		わが国の防衛政策について [レジュメ]	1985	4	24		書類	コピー	1綴(16枚)	第1節 世界の軍事構造/第2節 ソ連の軍事力増強と勢力拡張/(1)戦略核戦力(1962年～84年)/(2)中距離核戦力-SS-20- SS-20の配備地域及び射程/バックファイア/(3)通常戦力(陸・海・航空機 資料源:ミリタリー・バランス等)/(4)極東における米ソの勢力推移(陸・海・航空機)/(5)極東ソ連軍の配備/(6)朝鮮半島における軍事的対峙/(7)中国軍の兵力/(8)北方領土におけるソ連軍の状況/(9)西太平洋米軍の配備/我が国の防衛政策(レジュメ)/防衛関係費対GNP比/従来の構想と基盤的防衛力構想の差異/常備すべき防衛力の考え方(概念図) 書込みあり
1411		OTHレーダーについて					書類	コピー	1枚	
1412		防衛力の整備、維持及び運用の構想					書類	コピー	1枚	貼付資料あり
1413		シーレーン防衛					書類	コピー	1枚	
1414		米国の我が国に対する防衛期待					書類	コピー	1枚	
1415		日本の防衛政策の現状と課題					書類	コピー	1枚	
1416		米国との安全保障体制を基調とする防衛体制					書類	コピー	1枚	「2」と記載あり
1417		米国との安全保障体制を基調とする防衛体制					書類	コピー	1枚	「5」と記載あり 1416とは一部別文

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1418		防衛諸計画の体系					書類	コピー	1枚	
1419		日米防衛協力のための指針に基づく研究作業					書類	コピー	1枚	
1420		VI 日米防衛協力のための指針の概要					書類	コピー	1枚	
1421		[わが国防衛政策の基本事項]					書類	コピー	1綴(8枚)	別表 防衛諸計画の体系(別表防衛諸計画の体系の備考)／(2)整備方針 (3)所要経費(昭和60年度価格)／「日米防衛協力のための指針」／日米防衛協力のための指針の概要概要／米国の我が国に対する主な防衛期待／米国議会の対日防衛期待(1986年度米務省予算権限法中の我が国の防衛努力に関する条項〔仮訳〕)／同盟諸国の防衛責任分担に関する米国防省報告(61.5)〈日本関連の記述(要旨)〉／別紙各国の寄与能力と実際の分担との比較〔表〕
1422		FS-X選定作業の経緯					書類	コピー	1枚	
1423		「シーレーン防衛」作戦の概要〔図〕					書類	コピー	1枚	d 朝鮮海峡の防衛 e 宗谷海峡の防衛
1424		「防衛計画の大綱」に対する主要な批判					書類	コピー	1枚	
1425		「防衛計画の大綱」の仕組み					書類	コピー	1綴(2枚)	
1426		「大綱」の仕組み					書類	コピー	1綴(2枚)	1425と一部異なる
1427		侵略の一般的区分と「防衛計画の大綱」の目標〔図〕	1985	11			書類	コピー	1枚	
1428		日本の防衛政策の現状と課題	1987	9			書類	コピー	1枚	
1429		防衛構想の比較／地勢区分 他〔図表〕					書類	コピー	1枚	
9 手持参考資料(1990年頃)										
1430		空ファイル					書類綴		1点	もと1431～1439を綴じていた 表題「1990年頃の手持参考資料」
1431		いまこそ安全保障戦略を転換せよ(『中央公論』記事コピー)	[1990]	[10]		佐藤誠三郎	記事	コピー	1綴(10枚)	「中央公論 90.10」と書込みあり マーカーでチェックあり
1432		「経済パワーの時代」の幻想(『文藝春秋』記事コピー)	1990	11		高坂正堯	記事	コピー	1綴(11枚)	マーカーでチェックあり
1433		古典的戦争と新しい戦略(『文藝春秋』記事コピー)	1990	10		伊藤憲一	記事	コピー	1綴(14枚)	
1434		21世紀の太平洋安全保障体制はこうなる(『中央公論』記事コピー)	[1990]	[12]		リチャード・L・アーミテジ 友田錫 訳	記事	コピー	1綴(18枚)	「中央公論 90-12」と書込みあり マーカーでチェックあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1435		アジア太平洋地域の戦略的枠組み -21世紀への展望-					[冊子]	印刷物	1綴(38枚)	
1436		A Strategic Framework for the Asian Pacific Rim : Looking toward the 21st Century				Department of Defense, United States of America	[冊子]	印刷物	1綴(28枚)	
1437		[答弁資料]					書類	コピー	1枚	「米下院軍事委員会における米欧州軍司令官ガルビン大将証言(1990. 3. 2)(仮訳)／「上院軍事委員会公聴会におけるDIA長官ソイスター中将証言(1990. 1. 23)(仮訳) 矢田部想定問5-3
1438		[答弁資料]					書類	コピー	1綴(10枚)	(参考1)「アジアの軍事情勢が欧州とは異なる旨の米国防省関係者証言(仮訳)」／(参考1-2)「軍事力の増強」(表)／(参考2)「各種装備の近代化」(統計・図)(参考3)「わが国に近接した地域におけるソ連軍の配置」／(参考4)「北方領土におけるソ連軍の状況」(図)／(参考5)「演習・行動の活発化の例」(統計・図)／(参考6)「ソ連の極東地域における兵力削減の発表について」／(参考7)「大綱策定時と現在の極東ソ連軍の兵力比較」(表)／(参考8)「極東ソ連軍の主な質的増強の状況」(表)
1439		The Ghost in the Pentagon Rethinking America's Defense (<i>The National Interest Spring 1990</i> 記事コピー)	1990			Fred Charles Iklé	記事	コピー	1綴(8枚)	
海外出張										
1 宝珠山審議官訪欧資料(1988～1990年)										
1440		空ファイル					書類綴		1点	もと1441～1452を綴じていた 表題「宝珠山審議官訪欧資料」 背表紙「訪欧(英/独)(90. 6. 2-11)」
1441		東西両独統一を巡る西側各国の対応(報道ベース)					書類	印刷物	1綴(5枚)	マーカーでチェックあり
1442		ドイツ再統一問題に関する東側要人の発言(報道ベース)					書類	印刷物	1綴(6枚)	
1443		欧州情勢関係資料					[冊子]	印刷物	1綴(36枚)	「注意」朱印あり 欠頁あり ソ連のペレストロイカとゴルバチョフ政権についての理論的な考察例/ソ連経済の現状 防衛局調査第二課(1990. 3. 15 総分-2-2) 「注意」印あり/沿バルト3国の特性及び戦略的価値について 防衛局調査第二課(1989. 9. 14 欧ソ-1-34) 「注意」印あり マーカーでチェックあり/米ソ首脳会談に対する欧州主要国の反応(付)参考 ブッシュ大統領記者会見発言要旨 12月4日NATO本部(ブラッセル)(参考) 外務省用箋 マーカーでチェックあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1444		1-(2) ノールウェーの国防	1988	6	1		書類	コピー	1綴(15枚)	マーカーでチェック、書込みあり
1445		2-(1) 北欧におけるミリタリーバランス 1988～89年版 公信及び抜粋資料	1989	8	4	在ノールウェー 沢井大使	書類	コピー	1綴(6枚)	第0355号平成元年8月4日 外務省用箋 「北欧におけるミリタリーバランス 1988～89(英語版)(防衛情報)」 「防衛庁へ」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.8.21 第2242号」印あり マーカーでチェックあり
1446	0	2-(2) コラ半島周辺のソ連軍の動向							1枚	もと1446-0～1446-3を綴じていた。
1446	1	コラ半島ソ連軍の核装備と増強問題(防衛情報)	1990	1	25	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	2枚	第47号(取扱注意)至急 「取扱注意」と印字 外務省用箋 「防衛庁へ」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 2.1.29 第223号」印あり マーカーでチェックあり
1446	2	北方でのソ連軍に関するノールウェー国防軍司令官の発言(報道、防衛情報)	1989	11	14	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	2枚	第776号至急 「注意」と印字 外務省用箋 「防衛庁へ」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.11.16 第2971号」印あり マーカーでチェックあり
1446	3	ズイしゅうへんの軍事情勢(内話)(防衛情報)	1988	11	15	〔在スウェーデン〕 野村大使	書類	コピー	3枚	第1041号秘至急(ゆう先処理) 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2秘第63-1255号」
1447	0	2-(3) 北欧の安全保障環境に対する見方 ア. ノールウェー							1枚	もと1447-0～1447-9を綴じていた 表紙
1447	1	ノールウェーの安全保障(ホルスト国防大臣 発言)(防衛情報)	1988	11	17	〔在ノール ウェー〕 笹口臨時 代理大使	書類	コピー	2枚	第935号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「防衛庁へ」とあり 「防調2秘第63-1260号」印あり
1447	2	ノールウェーの安全保障(ホルスト国防大臣 の新聞寄稿(防衛情報)	1989	8	4	在ノールウェー 沢井大使	書類	コピー	9枚	第0353号 「取扱注意」印あり 外務省用箋 「防衛庁へ」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.8.21 第2241号」印あり
1447	3	ノールウェーの安全保障に関するシモンセン 国防大臣の発言(報道、防衛情報)	1989	11	28	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	2枚	第806号至急 「注意」と印字 外務省用箋 「防衛庁」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.11.30 第3092号」印あり
1447	4	海上兵力削減に関するシモンセン国防大臣の 発言(防衛情報)	1989	11	30	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	1枚	第813号(取扱注意)至急 「取扱注意」と印字 外務省用箋 「防衛庁へ」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.12.5 第3159号」印あり
1447	5	NATO首のう会議後のシューセ首相の発言(報 道、防衛情報)	1989	12	5	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	1枚	第825号至急 「注意」と印字 外務省用箋 「防衛庁」とあり 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.12.7 第3179号」印あり
1447	6	欧州情勢の見通し(北欧の戦略的価値の増大 等(防衛情報)ノールウェー・ホルスト前国防 大臣インタビュー	1990	1	10	〔在スウェーデン〕 村角大使	書類	コピー	2枚	第21号 「注意」と印字 外務省用箋 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 2.1.12 第62号」印あり
1447	7	ドイツ統一問題(安保局長内話、防衛情報)	1990	4	6	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	2枚	第228号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2秘第2-444号 3年6月30日をもって破棄」印あり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1447	8	北極しゅうへんの戦略かん境等に関するホル スト国防大臣の発言(内話、防衛情報)	1989	4	4	〔在ノール ウェー〕 浅尾大使	書類	コピー	2枚	第234号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「防衛庁へ」とあり 「秘」印あり 「防調2秘第1-392号 2年7月3日をもって廃棄」印あり
1447	9	ノールウェーの国防問題(国防大臣内話、防 衛情報)	1990	4	6	〔在ノール ウェー〕 沢井大使	書類	コピー	2枚	第230号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「〔防〕衛庁へ」とあり 「秘」印あり 「防調2秘第2-457号 3年6月30日をもって破棄」印あり
1448	0	2-(3) イ. スウェーデン							1枚	もと1448-0～1448-6を綴じていた 表紙
1448	1	欧州の安保情勢(ズイ参謀本部情報保全本部 長内話)(防衛情報)	1989	11	21	〔在スウェーデ ン〕 村角大使	書類	コピー	2枚	第1063号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2 秘第1-1511号 2年12月31日をもって破棄」印あり
1448	2	東西関係かん和と北欧地域の安全保障問題 (ズイ国防軍最高司令官内話)(防衛情報)	1989	12	6	〔在スウェーデ ン〕 村角大使	書類	コピー	2枚	第1142号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2 秘第1-1560号 2年12月31日をもって破棄」印あり
1448	3	東西関係かん和とズイの安全保障(カールソ ン首相演説)(防衛情報)	1989	12	7	〔在スウェーデ ン〕 村角大使	書類	コピー	2枚	第1151号 外務省用箋 「公信 防衛庁防衛局調査第2課 1.12.13 第 3231号」印あり
1448	4	変化する東西関係とズイの国防(内話)(防衛 情報)	1990	1	29	〔在スウェーデ ン〕 村角大使	書類	コピー	2枚	第101号秘 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2秘第2- 130号 3年3月1日をもって破棄」印あり
1448	5	安全保障面から見た将来の世界ぞう(最高司 令官スピーチ)(防衛情報)	1990	2	15	〔在スウェーデ ン〕 村角大使	書類	コピー	3枚	第199号 「注意」と印字 外務省用箋 「公信 防衛庁防衛局調査第2 課 2.2.16 第434号」印あり
1448	6	ソ連・東欧情勢がズイの安全保障に及ぼす影 響(内話)(防衛情報)	1990	5	7	〔在スウェーデ ン〕 村角大使	書類	コピー	3枚	第553号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2秘 第2-584号 3年6月30日をもって破棄」印あり
1449	0	2-(3) ウ. フィンランド							1枚	もと1449-0～1449-4が綴られていた 表紙
1449	1	現在の欧州情勢等に関する最高司令官発言 (防衛情報)	1989	8	11	〔在スウェーデ ン〕 野村大使	書類	コピー	3枚	第686号至急 「注意」と印字 外務省用箋 「公信 防衛庁防衛局調 査第2課 1.8.22 第2247号」印あり
1449	2	ノルバック国防大臣表けい(欧州安全保障情 勢)	1989	12	1	〔在フィンラン ド〕 黒河内大使	書類	コピー	2枚	第1192号秘 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2秘第 1-1554号 2年12月31日をもって破棄」印あり
1449	3	北欧地域に対する米戦略の影響(芬の見 方)(防衛情報)	1990	3	1	在フィンランド 黒河内大使	書類	コピー	6枚	第103号 「取扱注意」印 外務省用箋 「公信 防衛庁防衛局調査第2 課 2.3.23 第812号」印あり
1449	4	欧州軍事情勢(フィン国防軍総司令官の見方 (防衛情報)	1990	4	4	〔在フィンラン ド〕 黒河内大使	書類	コピー	2枚	第347号秘至急 「秘」と印字 外務省用箋 「秘」印あり 「防調2秘 第2-434号 3年6月30日をもって破棄」印あり
1450		次期防について					書類	コピー	1綴(5枚)	(参考1)「防衛力整備計画の閣議決定時期」(参考2)「国防会議及び四 相協議の開催状況(中期防衛力整備計画策定関連)」(参考3)新聞記事切 抜(『産経新聞』『読売新聞』)

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1451		Sir Colin M Chandler の letter(1989.4.6)に対する対応について					書類	コピー	1綴(2枚)	チャンドラー英国防省調達庁輸出本部長からの装備に関する日英協力推進提案への対応 書込みあり
1452		答弁資料「問 ヨーロッパ諸国との軍事産業協力についてはどう考えているか」「問 欧州諸国は、かねてから日本に対して武器を購入してくれるよう要望しているが、防衛庁の見解如何」					書類	コピー	1綴(5枚)	
2 英国との対話(1989～1990年)										
1453		空ファイル					書類綴		1点	もと1454～1477を綴じていた 表題「英国との対話 90」
1454		英国 国防省との意見交換	1990	6	6		書類	印刷物	1綴(7枚)	防衛庁野紙裏面 書込みあり
1455		次期防の検討状況について	[1990]	6	6		書類	コピー	1綴(7枚)	書込みあり
1456		グローバルな軍備管理・軍縮の必要性と方策について	1990	6	6		書類	コピー	1枚	
1457		日本の軍備管理・信頼醸成の努力について	1990	6		[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(6枚)	報告発表の際の原稿
1458		防衛審議官訪欧資料	1990	5	25		書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1459		日米(英の誤記カ)防衛事務次官懇談の概要	1989	11	30	次官室	書類	コピー	1綴(2枚)	
1460		西廣次官訪英における懇談の概要					書類	コピー	1綴(2枚)	90.2.1 クインラン次官主催夕食会
1461		グリフィス国防次官補との懇談(2.5.17)における主要事項					書類	コピー	1綴(2枚)	
1462		ソ連本格空母が実戦配備へ	1990	5	25		書類	コピー	1枚	(25AJ06 J5A042 AJ06 外に○ 30)タス通信の配信記事を元にした短信他 書込みあり
1463		ソ連に対する一方的兵力削減要求について					書類	コピー	1綴(3枚)	(付) 新聞記事切抜
1464		訪問者略歴 クインラン, マイケル					書類	コピー	1枚	
1465		英国防次官補(政策担当)の訪問について	1990	5	15	長官官房総務課国際室	書類	コピー	1綴(2枚)	官房長決裁の稟議書(国際室2-95号)
1466		欧州情勢に対する英国の見方					書類	コピー	1枚	1990年英国防報告から作成 書込みあり
1467		英国の国防政策					書類	コピー	1綴(3枚)	別紙「英国の戦力組成」 マーカーでチェックあり
1468		英国国防次官補との懇談議事録	1990				書類	印刷物	1綴(19枚)	マーカーでチェックあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1469		1990.5.16 英国DISウェスト海軍大佐(ダフィールド海軍大佐と赤字追記)によるブリーフィング「UK concept of present military situation in Europe」要旨	1990	5	27	統幕2室	書類	コピー	1綴(4枚)	統合幕僚会議事務局用箋
1470		英国の情報組織概要図					書類	コピー	1枚	書込みあり
1471		CAPTAIN A W J WEST, DSC, ROYAL NAVY					書類	コピー	1枚	履歴書 書込みあり
1472		CAPTAIN RICHARD MEASHAM DUFFIELD FIFE MIMechE CEng ROYAL NAVY					書類	コピー	1枚	履歴書
1473		西広防衛次官の英国防閣外大臣等表けい(マ)	1990	2	7		書類	コピー	1綴(3枚)	外務省用箋 「第608号 秘 至急(ゆう先処理)Q44DBB」 「防衛局防衛課収第153号」 「秘」 「防調2秘第2-160号 公信3年3月31日をもって破棄」 各印あり マーカーでチェックあり
1474		西広防衛次官の英国防省との意見交換(その1)	1990	2	7		書類	コピー	1綴(5枚)	外務省用箋 「第609号 秘 至急(ゆう先処理)Q44DBB」 「防衛局防衛課収第154号」 「秘」 「防調2秘第2-161号 公信3年3月31日をもって破棄」 各印あり マーカーでチェックあり
1475		西広防衛次官の英国防省との意見交換(その2)	1990	2	7		書類	コピー	1綴(6枚)	外務省用箋 「第610号 秘 至急(ゆう先処理)Q44DBB」 「防衛局防衛課収第155号」 「秘」 「防調2秘第2-162号 公信3年3月31日をもって破棄」 各印あり マーカーでチェックあり
1476		配席図(TABLE PLAN)					書類	コピー	1枚	日英の防衛関係者会合 会場名の書込みあり
1477		[クインラン英国防次官来日関係]					書類	コピー	1綴(5枚)	全般日程 (参考)防衛庁長官に対する訪英招待状況/大臣・幕僚長等の往来実績(昭和50年以降)/国防組織 [図]

宝珠山昇作成

1 防衛課部員時代のノート (1975~1978年)

1478		空ファイル				宝珠山昇	書類綴		1点	もと1479~1486を綴じていた 表題「防衛課部員時代のノート(昭50.5.2~昭53.6.1)」
1479		ノート(防衛局防衛課(1) 昭50.5.20 昭50.9.23)	1975			宝珠山昇	ノート	ペン	1冊	貼付資料あり 挟込資料(自衛隊の使用する航空機の形式について(通達)49.4.18 その他メモ)
1480		ノート(防衛局防衛課(2) 昭50.9.23 昭50.11.25)	1975			宝珠山昇	ノート	ペン	1冊	貼付資料あり
1481		国防会議参事官会議(Memo)	1975	11	6	宝珠山昇	書類	ペン	1綴(14枚)	防衛庁原稿用紙
1482		ノート(防衛局防衛課(3) 昭50.11.25 昭51.3.16)	1975~1976			宝珠山昇	ノート	ペン	1冊	貼付資料あり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1483		ノート(防衛局防衛課(4) 昭51.3.16 昭51.8.28)	1976			宝珠山昇	ノート	ペン	1冊	貼付資料あり
1484		ノート(防衛局防衛課(5) 昭51.8.30 昭52.5.25)	1976~1977			宝珠山昇	ノート	ペン	1冊	貼付資料あり
1485		ノート(防衛局防衛課(6) 昭52.5.25 昭53.6.1)	1977~1978			宝珠山昇	ノート	ペン	1冊	貼付資料あり
1486		(別素案)「自衛力の具体的限度」について	1978	2	27	宝珠山昇	書類	鉛筆	1綴(4枚)	防衛庁罫紙
2 〔宝珠山昇作成文書 他〕(1984~1991年)										
1487		空ファイル					書類綴		1点	もと1488~1539を綴じていた
1488		〔戦後防衛・安全保障関係年表1945~1985〕					書類	コピー	1綴(4枚)	書込みあり
1489		日本の防衛戦略					書類	コピー	1綴(6枚)	
1490		日米安全保障条約締結30周年に際しての日本国総理大臣と米国大統領の共同ステートメント	1990	6	23		書類	コピー	1綴(3枚)	「注意 23日05時00分以後使用のこと」印あり
1491		参議院予算委員会提出資料(席上配布資料)	1990	5	18	日本共産党 吉川春子	書類	コピー	1綴(6枚)	「取扱注意」印あり (1)“思いやり予算”で提供されている施設／(2)“思いやり予算”で貸与している制服等／(3)日本政府が提供している在日米軍低層住宅(司令官用)標準間取図／(4)日本政府が提供している在日米軍高層住宅(3寝室型)標準間取図／(3)日本政府が提供している在日米軍低層住宅(2寝室型)標準間取図
1492		世界の平和に不可欠な力ー国連軍や自衛隊の現状と課題ー	1991	9	3	講師:宝珠山参事官	書類	コピー	1綴(19枚)	内外情勢調査会横浜みなと支部での講演原稿 書込みあり
1493		世界の平和に不可欠な力ー「国連軍」や自衛隊の現状と課題ー	1991	9	3	〔宝珠山昇〕	書類	印刷物、コピー	1綴(13枚)	内外情勢調査会・横浜みなと支部・Hコスモでの講演 1323の骨子(参考記事添付、書込みあり)
1494		平和のために必要な最小限の防衛力ー多元の巨大な軍事力が存在し続ける世界ー				〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1綴(2枚)	(付)各省庁等増員数調べ 書込みあり
1495		過渡期の世界、日本はどうする <付録>国際情勢Q&A				自由民主党	書類	コピー	1綴(15枚)	「自民党選挙向けパンフレット」とある
1496		〔草稿〕				〔宝珠山昇〕	書類	印刷物	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 日本の次期防の苦悩／極東ソ軍の一方的兵力削減の評価／北東アジアの軍備管理・軍縮の可能性 書込み多数
1497		〔講演資料〕	1989	1	26	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1綴(3枚)	防衛装備協会懇談会での講演原稿 書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1498		自由・民主諸国の連邦に向かうか	[1990]			宝珠山昇(長官官房 防衛審議官)	書類	コピー	1枚	
1499		先輩から皆さんへ(〔掲載誌不明〕記事コピー)				宝珠山昇(防衛局計 画官)	記事	コピー	1枚	書込みあり
1500		肌違いの場でも一言居士つらぬく情熱家 宝珠山昇氏(『時評』記事コピー)	1990	7			記事	コピー	1枚	
1501		大綱”防衛”の作戦変更 防衛庁(『日本経済新聞』記事切抜)	1990	4	29	日本経済新聞社	記事	印刷物	1枚	(付)福島康人「一応の危機を脱した日米関係」(1990年4月19日)
1502		国際環境の変化と我が国の防衛政策	1990	5	8	[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(3枚)	
1503		「日本の進路」	1990	5	8	[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(4枚)	
1504		〔想定問答〕「NATOの定義による国防費の比較では既に世界で第3位」との報道、また「イージス艦」の保有、護衛艦の隻数、P-3Cの機数等の実態からみて、我が国の防衛力は果たして必要最小限のものと言い得るのか	1990	5	8	[宝珠山昇]	書類	コピー	1枚	
1505		次期防の検討状況について	[1990]	6	6	[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(7枚)	「(英国)」と書込みあり
1506		日本の軍備管理・信頼醸成の努力について	1990	6		宝珠山昇	書類	印刷物	1綴(6枚)	防衛庁罫紙 講演原稿 1512と同文
1507		平和のために必要な最小限の防衛力ー多元の巨大な軍事力が存在し続ける世界ー				[宝珠山昇]	書類	印刷物	1枚	防衛庁罫紙
1508		次期防の作業の促進の方法について(5-16)				[宝珠山昇]	書類	印刷物、コピー	2枚	防衛庁罫紙、同文を拡大コピーしたものに書込みあり
1509		次期防の当面の日程・作業について(5-16)				[宝珠山昇]	書類	印刷物、コピー	2枚	防衛庁罫紙、同文を拡大コピーしたもの
1510		国際情勢の変化と防衛計画の大綱(私見)	1990	4	27	[宝珠山昇]	書類	印刷物	1綴(3枚)	防衛庁罫紙
1511		施設庁経費の検討状況					書類	コピー	1枚	[平成2年度予算]
1512		日本の軍備管理・信頼醸成の努力について	1990	6		宝珠山昇	書類	印刷物	1綴(6枚)	防衛庁罫紙 1506と同文
1513		次期防の検討状況について(英国国防省との意見交換)	1990	6	6	[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(7枚)	「(私見、秘)」と書込みあり 1505に加筆した資料
1514		日本国防衛庁の軍備管理努力について	1990	4		[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(5枚)	国連軍縮仙台台会議(1990年4月16日～19日)での講演原稿 書込みあり
1515		[安全保障政策質問事項]					書類	コピー	2綴(4枚)	別種2綴り いずれにも「(田口T'89)」と書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1516		福泉会・朝食会のご案内	1990	3		朝食会幹事一同	書類	コピー	1綴(4枚)	(付)宝珠山昇「米・ソ緊張緩和の中での日本の防衛」(1990年4月5日講演原稿・レジュメ) 印刷物 防衛庁罫紙 書込みあり
1517		わが国の防衛政策を巡る最近の環境を中心として	1990	3	16	宝珠山昇	書類	印刷物	1綴(14枚)	防衛庁罫紙 財団法人日本郷友連盟第35回総会講演要綱 貼付資料あり 書込み多数
1518		要点 [防衛費関連]	1989	12	5	[宝珠山昇]	書類	印刷物	2綴(4枚)	防衛庁罫紙・コピー 同文2綴(ひとつに書込みあり)
1519		最近の国際軍事情勢等について/平成2年度防衛予算について	1989	12			書類	コピー	1綴(14枚)	「極秘」朱印あり 貼付資料あり
1520		一般物件費「その他」の内訳					書類	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1521		防衛事務次官の総理説明について(対外公表振り)	[1989]	[12]			書類	コピー	1枚	
1522		8 デタント(掲載誌不明)記事コピー)				佐瀬昌盛	記事	コピー	1枚	
1523		西独の戦力削減の可能性について(回答)	1989	11	22	西独防衛駐在官塚本1等陸佐(佐藤3佐受け)	書類	コピー	1綴(3枚)	「指定前秘密」朱印あり
1524		米国の国防費削減について	1989	11	24	防衛局調査第2課	書類	コピー	1枚	「指定前秘密」朱印あり
1525		米国防予算削減に関する報道の取りまとめ(特に注記のないものは各紙に報道されたもの)					書類	コピー	1綴(8枚)	「注意」朱印あり (付)米国防予算削減についてのチェイニー国防長官の発言(全文仮訳)
1526		一般物件費「その他」の内訳					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 マーカーでチェックあり
1527		[隊舎他厚生施設経費年度別内訳]					書類	コピー	1枚	62年度～平成3年度以降 マーカーでチェックあり
1528		宿舍充足率及び設置戸数推移					書類	コピー	1枚	54年度～平成2年度 マーカーでチェックあり
1529		[平成] 2' GNP試算					書類	コピー	1枚	書込みあり
1530		平成2年度防衛関係費について					書類	コピー	1綴(4枚)	「指定前秘密」朱印あり
1531		国際軍事情勢の現状/極東ソ連軍の現状-大綱策定時(1976)との比較を中心に-					書類	コピー	1綴(5枚)	「極秘」印あり
1532		防衛力整備計画等にかかる安保会議等の議題	1990				書類	コピー	1綴(5枚)	
1533		領空侵犯に対する措置について(メモ)	1988	10	5		書類	コピー	1綴(9枚)	「指定前秘密」朱印あり 「内閣法制局内用メモ」と書込みあり マーカーでチェックあり
1534		大臣折衝用メモ(第1回)					書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1535		大臣折衝最終段階メモ					書類	コピー	1枚	書込みあり
1536		「防衛計画の大綱」の見直し					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙
1537		GNP1%の決定の経緯等について					書類	コピー	1綴(4枚)	貼付資料あり
1538		主要性能〔表〕	1984	4	10		書類	コピー	2枚	「局長手持」とある PS-1/P-2J/P-3C(各機種図面あり)
1539		主要国の救難体制					書類	コピー	1枚	
研修・講演										
1 研修等講義資料(1976～1983年)										
1540		空ファイル					書類綴		1点	もと1541～1567を綴じていた 表題「研修等講義資料」
1541		MEMO(56. 2. 18)	1981	2	18		書類	コピー	1枚	「調査第2課長 55. 3. 31」印あり
1542		MEMO(56. 3)	1981	3			書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1543		MEMO(1980. 6. 26)	1980	6	26		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1544		ソ連のICBM, I/MRBM					書類	コピー	1枚	資料源：AW/ST.1980. 9. 22 他 書込みあり
1545		米国のICBM					書類	コピー	1枚	資料源：Air Force Magazine 1980. 6
1546		自衛官・主要国軍人及び文官との給与対応基準					書類	コピー	1枚	
1547		〔講義案〕	1983	5	30	防衛局計画官	書類	コピー	1綴(12枚)	講義案(メモ)/防衛力整備の流れ/COMPARISON OF U. S. DEFENSE OUTLAYS AND ESTIMATED DOLLAR COST OF SOVIET DEFENSE PROGRAMS/防衛諸計画のサイクル及び移行要領 別添/主要装備の整備量及び完成時勢力/五六中業の経費の概要/防衛関係費とGNP/五六中業の進捗状況 書込みあり
1548		〔我が国防衛の基本に関する資料の部分コピー〕					書類	コピー	1綴(9枚)	第3節 常備防衛力 第4節 対象期間中の防衛力整備の構想及び重点 第5節 所要防衛力への移行上の問題点及び対策 第5章 国家施策に対する要請 第1節 国家安全保障体制の確立のための施策 第2節 B軍の防衛協力を確保するための施策 別紙第1 国外勢力の軍事力(在極東等 「極秘」印字あり)
1549		HAWK/NIKE/PATRIOT 〔図〕					書類	コピー	1枚	書込みあり
1550		NIKE/SAM-X/HAWK 〔図〕					書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1551		日本全土をSAM-Xで覆域する場合の所要量 〔図〕					書類	コピー	1枚	マーカーでチェックあり
1552		基地防空火器の配備と1基地当りの経費	1981	8	14		書類	コピー	1枚	
1553		航空機えん体の整備数と経費	1981	8	14		書類	コピー	1枚	書込みあり
1554		対A指向可能兵力対比表					書類	青焼	1枚	
1555		3次防・4次防経費内訳	1981	11	20		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙 書込みあり
1556		3・4次防経費伸率(実質)	1981	11	20		書類	コピー	1枚	
1557		極東Z陸軍の弾薬備蓄状況	1981				書類	コピー	1枚	
1558		53中業と56中業の比較〔表〕					書類	コピー	1綴(2枚)	「指定前秘密」朱印あり 1 艦船 2 航空機 3 弾薬(定数補充・備蓄用)
1559		陸上自衛隊 主要火砲等一覧	1981	6	8		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙
1560		主要艦艇単価	1981	7	9		書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 「部内限り」印あり
1561		護衛艦性能諸元	1981	8	28		書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1562		基盤的防衛力整備時における作戦機約430機の 内訳	1976	9		防衛課	書類	コピー	1枚	「注意」朱印あり
1563		〔戦後の防衛政策に関する講義〕				防衛局計画官	書類	コピー	1綴(13枚)	講義案(メモ)／防衛力整備の流れ／「防衛計画の大綱」の考え方 他 〔図表〕／防衛構想の比較 他〔図表〕／COMPARISON OF U. S. DEFENSE OUTLAYS AND ESTIMATED DOLLAR COST OF SOVIET DEFENSE PROGRAMS 〔図〕／別添 防衛諸計画のサイクル及び移行要領〔図〕／別紙1 整備 方針 主要装備の整備量及び完成時勢力／五六中業の経費の概要／防衛 関係費とGNP〔図〕／五六中業の経費の概要／防衛の主要問題／58年度 概算要求〔図〕／防衛関係費対GNP1%〔図〕 書込みあり
1564		大臣説明資料	1982	11		防衛局	書類	コピー	1綴(20枚)	1. 我が国の防衛政策／2. 日米関係／3. 防衛計画の大綱(昭和51. 10. 29 国 防会議・閣議決定)／4. 防衛庁における防衛諸計画の体系／5. 五六中業 (「昭和58年度から昭和62年度までを対象とする中期業務見積り」)／ 6. 58年度業務計画・概算要求(歳出27,761億円、後年度負担24,796億円) ／7. 防衛関係費対 GNP比1%／8. 「日米防衛協力のための指針」(ガイド ライン)／9. シーレーン防衛／F-16の三沢配備／米国の対日防衛期待一 覧 別紙1／防衛計画の大綱と現有防衛力との差 別紙2／五六中業整備内 容 別紙3／昭和58年度業務計画(案)主要項目 別紙4／日米防衛協力のため の指針 別紙5
1565		「GNP1%に関する閣議決定」に代る「新しい 歯止め」について(試案)	1982	12	30	防衛局計画官	書類	コピー	1枚	「指定前秘密」朱印あり
1566		「GNP1%の閣議決定」廃止と各年度の防衛関 係経費の規模について(試案)	1982	12	30	防衛局計画官	書類	コピー	1綴(2枚)	「指定前秘密」朱印あり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1567		[防衛政策の基礎情報]					書類	コピー	1綴(9枚)	防衛庁罫紙 「指定前秘密」印あり 防衛力整備関係の主要文書の特徴／別紙1 整備方針 主要装備の整備量及び完成時勢力／別紙2 五六中業の経費の概要／別紙3 [防衛関係費とGNP 表]／別紙4 防衛関係費とGNP [図]／別紙5 防衛関係経費のGNP試算(56中業) 他／五六中業の年度別経費の等比による試算(1)総額及び正面経費 書込みあり
2 講演等資料(1985年頃)										
1568		空封筒				防衛庁	書類綴		1点	もと1569～1594を入れていた 表題「講演等資料(60.10.)」
1569		我が国の防衛政策 [レジュメ]	1985	10	8		書類	コピー	1枚	書込みあり 日付(60.9.19)→(60.10.8)に修正あり
1570		従来の構想と基盤的防衛力構想の差異 [概念図]					書類	コピー	1枚	
1571		常備すべき防衛力の考え方(概念図)					書類	コピー	1枚	
1572		地勢区分／地对空誘導弾部隊 他 [図表]					書類	コピー	1枚	
1573		II 防衛力整備の基本的な考え方					書類	コピー	1枚	
1574		別紙1 昭和51年度以前の防衛力整備の考え方					書類	コピー	1枚	
1575		「防衛計画の大綱」の考え方を採用するに至った背景					書類	コピー	1枚	
1576		(参考)米ソ国防費の比較(FY1983国防報告)					書類	コピー	1枚	書込みあり
1577		COMPARISON OF U.S. DEFENSE OUTLAYS AND ESTIMATED DOLLAR COST OF SOVIET DEFENSE PROGRAMS 他 [図表]					書類	コピー	1枚	
1578		III 日米関係					書類	コピー	1枚	1. 米国の国防政策
1579		日米共同作戦計画の研究において誤認された主要不備事項					書類	コピー	1枚	
1580		日米防衛協力のための指針に基づく研究作業の現状 [図]					書類	コピー	1枚	
1581		別紙 日米防衛協力のための指針に基づく研究作業の現状 [図]					書類	コピー	1枚	書込みあり 昭和54年～59年
1582		(1) 日米防衛首脳会談等における対日防衛期待 [表]					書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1583		[日米防衛協力関係資料 図表]					書類	コピー	1綴(8枚)	日米防衛首脳会談実施状況(50年1月以降)／安全保障問題に関する日米間の主な協議の場(開催状況) 1985. 6. 25／日米防衛協力の進展状況／日米防衛協力のための指針に基づく研究作業の現状／日米防衛首脳会談等における主要論議(昭和54年～60年)
1584		[防衛関係基本資料 図表]					書類	コピー	1綴(4枚)	防衛力整備の流れ／「防衛計画の大綱」の考え方等／[図表](防衛構想の比較／地勢区分 他)／COMPARISON OF U.S. DEFENSE OUTLAYS AND ESTIMATED DOLLAR COST OF SOVIET DEFENSE PROGRAMS 他
1585		国際軍事情勢関係メモ ASEAN及びインドシナ諸国の軍事力等について [表]	1980	1	6		書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 資料源：ミリタリーバランス 1980-81年、東南アジア要覧1980年版等による
1586		イラン、イラク、シリア、ヨルダン、サウジアラビアの軍事力比較 [表]					書類	コピー	1枚	資料源：ミリタリーバランス、ジェーン年鑑 書込みあり
1587		1979年における世界的な石油の流れ 他 [図表]					書類	コピー	1枚	
1588		シーレーン防衛					書類	コピー	1枚	
1589		OTHレーダーについて	1985	11			書類	コピー	1枚	
1590		防空作戦 [図]					書類	コピー	1枚	
1591		海上交通保護の作戦 [図]					書類	コピー	1枚	
1592		[防衛構想に関する資料]					書類	コピー	1綴(3枚)	防衛力の整備、維持及び運用の構想／米国との安全保障体制を基調とする防衛体制／中期防衛力整備計画 整備規模等(昭和60. 9)(昭和61年度～昭和65年度を対象) [表]
1593		別紙2 従来の構想と基盤的防衛力構想の差異 [概念図]					書類	コピー	1枚	
1594		我が国の防衛構想について					書類	コピー	1綴(10枚)	第1 上着陸侵攻のシナリオ(出典：栗栖弘臣著「仮想敵国ソ連ーわれらこう迎え撃つー」(講談社 55. 4))／第2 シーレーン攻撃のシナリオ(出典：大賀良平著「シーレーンの秘密」(潮文社 58. 5))／大賀、竹田、永野対談「日米共同作戦ー日米対ソ連の戦いー」(麴町書房 57. 1))／第3 航空攻撃のシナリオ(出典：大賀、竹田、永野対談「日米共同作戦ー日米対ソ連の戦いー」(麴町書房 57. 1))
3 講演原稿(1985年頃)										
1595		空封筒				防衛庁	書類綴		1点	もと1596～1611を入れていた 表題「講演原稿」
1596		我が国の防衛政策(レジュメ)	1985	9	19		書類	コピー	1枚	
1597		参考資料(目次)					書類	コピー	1枚	
1598		日本国憲法前文及び第9条					書類	コピー	1枚	「p. 1」とある

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1599		憲法と自衛隊に関する統一解釈					書類	コピー	3枚	「p.2～4」とある
1600		シビリアン・コントロールについて					書類	コピー	1枚	「p.5」とある
1601		地勢区分／地对空誘導弾部隊 他〔図表〕					書類	コピー	1枚	「p.21」とある
1602		侵略の一般的区分と「防衛計画の大綱」の目標	1985	11			書類	コピー	1枚	「p.22」とある
1603		常備すべき防衛力の考え方(概念図)					書類	コピー	1枚	
1604		従来の構想と基盤的防衛力構想の差異	1985	5	16		書類	コピー	1枚	「防衛課長 60.5.16」印あり
1605		従来の構想と基盤的防衛力構想の差異					書類	コピー	1枚	1604の部分拡大
1606		常備すべき防衛力の考え方(概念図)/従来の構想と基盤的防衛力構想の差異					書類	コピー	2綴(4枚)	「p.23」「p.24」とある 同文2部
1607		昭和51年度以前の防衛力整備の考え方					書類	コピー	1枚	「p.25」とある
1608		防衛力整備計画の推移/現在の防衛諸計画の体系					書類	コピー	1枚	「p.33」とある
1609		ASWセンター運用概念図					書類	コピー	1枚	「p.68」とある 「指定前秘密」朱印あり
1610		陸上自衛隊の沿革					書類	コピー	1綴(3枚)	(付) 陸上自衛隊の沿革/2 戦略単位の変遷(I) 書込みあり
1611		防衛構想の比較/地勢区分 他〔図表〕					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
4 社会党勉強会(1990年前後)										
1612		空封筒				防衛庁	書類綴		1点	もと1613～1624を入れていた 表題「社 勉強会 '89-11-8」
1613		〔我が国の防衛政策の基礎情報〕					書類	コピー	6枚	米国との安全保障体制を基調とする防衛体制/昭和51年度以前の防衛力整備の考え方 別紙1/防衛力の整備、維持及び運用の構想/従来の構想と基盤的防衛力構想の差異 別紙2-2/〔図表〕(地勢区分/地对空誘導弾部隊 他)/侵略の一般的区分と「防衛計画の大綱」の目標(1985.11) 貼付資料あり
1614		〔我が国の防衛構想〕					書類	コピー	1綴(4枚)	米国との安全保障体制を基調とする防衛体制/昭和51年度以前の防衛力整備の考え方/防衛力の整備、維持及び運用の構想/従来の構想と基盤的防衛力構想の差異

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1615		「新しい政治への挑戦」等に示された安保・防衛政策への私見				[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 書込みあり
1616		社会党の連合政権構想と各党の政策の矛盾点等〔表〕	1989	9	21		書類	コピー	1綴(3枚)	
1617		〔我が国の防衛構想〕	1989	11	8		書類	印刷物、コピー	1綴(7枚)	要項〔宝珠山昇〕／昭和51年度以前の防衛力整備の考え方／防衛力の整備、維持及び運用の構想／従来の構想と基盤的防衛力構想の差異 防衛庁罫紙
1618		〔我が国の防衛構想〕	1989	11	8		書類	コピー	1綴(6枚)	要項〔宝珠山昇〕／米国との安全保障体制を基調とする防衛体制／昭和51年度以前の防衛力整備の考え方／防衛力の整備、維持及び運用の構想／従来の構想と基盤的防衛力構想の差異 「宝珠山」朱印あり 書込みあり 貼付資料あり
1619		安保・自衛隊政策に関する試論 緩やかで着実な改革を(『月刊社会党』記事コピー)	[1989]	8		上原康助	記事	コピー	1綴(5枚)	書込みあり
1620		「連合政権」見通し暗く一公明党が見解 社党批判強める〔掲載紙不明〕記事コピー		10	31		記事	コピー	1枚	
1621		安全保障・防衛政策の変遷とその展望	1991	4	19	[宝珠山昇]	印刷物	コピー	1枚	
1622		安全保障・防衛政策の変遷とその展望	1991	4	19		書類	コピー	1綴(6枚)	(付)米国との安全保障体制を基調とする防衛体制／別紙1 昭和51年度以前の防衛力整備の考え方〔表〕／防衛力の整備、維持及び運用の構想／別紙2-2 従来の構想と基盤的防衛力構想の差異〔表〕／地勢区分／地对空誘導弾部隊 他〔図表〕 書込みあり
1623		常備すべき防衛力の考え方(概念図)					書類	コピー	1枚	
1624		(別紙)7、軍縮と環境－かけがえのない地球を守るために					書類	コピー	1枚	「取扱注意」印あり
その他										
1 〔自衛隊幹部記章問題〕(1960年)										
1625		本案についての反対理由	[1960]			麻生〔茂〕参事官	書類	青焼	1綴(6枚)	(付)宝珠山作成の当文書の説明メモ(2011年10月5日) メモに「統合幕僚長及び陸・海・空各幕僚長の四つの桜星章を制定する過程のものと推定される」との書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2 教養参考資料〔防衛庁入庁時研修資料〕(1963年)										
1626		空ファイル					書類綴		1点	もと1627～1631を綴じていた 表題「教養参考資料」
1627		戦陣訓	1941	1	5		冊子	印刷物	1綴 (12枚)	
1628		明治天皇の軍人に賜りたる勅諭	1940	1	5		冊子	印刷物	1綴 (6枚)	
1629		統合幕僚会議議長の職務について	1963	8	17		書類	印刷物	1綴 (3枚)	
1630	1	米国陸軍礼式及び軍紀(抜すい)					冊子	印刷物	1綴 (9枚)	「◎加藤官房長より38.7.17官房室にて」「38.8.2事務次官就任」と書込みあり
1630	2	〔加藤陽三官房長の新人職員への訓話の要旨〕	1963	7	17		書類	ペン	1枚	防衛庁用箋 (付)後年これをメールマガジンに寄稿した際の宝珠山の文章のプリントアウト、送付の際の宝珠山のメールあり
1631		初任研修資料 職員の心がまえ	1963	4	2	長官官房総務課長	書類	印刷物	1綴 (2枚)	鉛筆で「中井課長」等、聞きながら書いたと思しき書込みあり
3 訓示 (1970～1977年)										
1632		空ファイル					書類綴		1点	もと1633～1642を綴じていた 表題「訓示」
1633		第二次防衛力整備計画について					書類	コピー	1綴 (10枚)	
1634		自衛官の勤務の態様等の特異性について	[1970]	[7]	[30]		書類	コピー	1綴 (2枚)	防衛庁用箋 「45.7.30 大内、長谷川、宝珠山作成 特命←人教局長←長官」と書込みあり
1635		中曽根防衛庁長官の外人プレスクラブでの講演(不明刊行物部分コピー)				長官官房広報課	記事	コピー	1綴 (4枚)	「本稿は昭和45年12月1日、東京丸の内の「外人プレスクラブ」における英語による講演を訳したものである」とある
1636		中曽根防衛庁長官の訪米について(不明刊行物部分コピー)				長官官房広報課	記事	コピー	1綴 (6枚)	
1637		福田首相の所信表明演説(『朝日新聞』記事切抜)	1977	7	30	朝日新聞社	記事	印刷物	1枚	「第81国会 52.7.27～8.3」と書込みあり
1638		第八十回国会における福田内閣総理大臣施政方針演説	1977	1	31		[冊子]	コピー	1綴 (20枚)	マーカーでチェックあり
1639		[三木首相]首相施政方針演説の内容/外交演説 宮沢外相・財政演説 大平蔵相・経済演説 福田経企長官(『読売新聞』記事切抜)	1976	1	23	読売新聞社	記事	印刷物	2枚	
1640		「自衛隊記念日」を迎えて	[1975]	[11]	[1]	坂田道太(国務大臣防衛庁長官)	書類	印刷物	1枚	冒頭の文章に「[11月1日]午前9時50分から全国の自衛官に対し、放送を通じて次のように訓話した」とある
1641		自衛隊記念日に観閲式における内閣総理大臣訓示	1975	11	2	三木武夫(内閣総理大臣)	書類	印刷物	1枚	
1642		自衛隊記念日に観閲式における内閣総理大臣訓示	1975	11	2		[冊子]	コピー	1綴 (4枚)	供覧先指定印あり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
オーラルヒストリー										
オーラルヒストリー〔準備資料〕										
1643		空ファイル					書類綴		1点	もと1644～1682を綴じていた 表題「オーラルヒストリー」
1644		オーラルヒストリー総括メモ	2004	12	17	宝珠山昇	書類	コピー	1綴(4枚)	書込みあり
1645		The United States Army					書類	印刷物	1枚	インターネットの米国陸軍HPから組織説明の部分の打ち出し
1646		宝珠山昇先生 第10回質問項目	2004	12	1	COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局	書類	コピー	1綴(5枚)	FAX 2004年12月6日の聴取りに際しての質問票 書込み多数 (付)送付状
1647		〔参考資料〕					書類	コピー	1綴(2枚)	宝珠山内閣審議官時代の出来事を列挙
1648		報告MEMO	1991	5	10	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1綴(3枚)	ヴァンデンバーグ決議と日米安保条約、PKO関連の想定問答
1649		報告MEMO	1991	5	17	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1枚	PKO法案関連事項に関する確認
1650	0	空封筒				内閣官房内閣安全保障室	書類綴		1点	「バ決議と日米安保条約」と記載あり
1650	1	日米安保条約とヴァンデンバーグ決議					書類	コピー	1綴(3枚)	ヴァンデンバーグ決議の解説、参議院予算委員会での立木洋議員の(共)質問と海部総理大臣答弁部分(平成2年5月14日)
1650	2	(参考2)「安保条約の概要」より抜粋					書類	コピー	3枚	同文3枚
1650	3	PKFと「武力の行使」等について(私見・未定稿)要約	1991	7	23	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1枚	
1650	4	「武力の行使」と「武器の使用」の概念区分(私見・未定稿)〔表〕	1991	7	16	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1枚	
1650	5	『朝日』『読売』『産経』(記事切抜)	1991	9			記事	切抜	3枚	自民党の「国際社会における日本の役割に関する特別調査会」答申原案に関する新聞記事
1651		米ソ、そして日本も設置を計画中のOTHレーダーとは?(『Aireview』記事コピー)	1987	5		立花正照	記事	コピー	1綴(5枚)	
1652		日本の航空機産業				〔共同通信社〕	書類	コピー	1綴(16枚)	1945年の敗戦から1990年までの軍用機、特にFSX開発をめぐる日米の防衛当局及び産業界の相克を時系列で並べたもの 刊行物の部分コピーを含む 書込みあり
1653		〔防衛関係のフォーラムの概要報告書〕	2003	11		〔共同通信社〕	書類	コピー	1綴(9枚)	インターネット掲載情報の打ち出し 宝珠山が司会者として参加した分科会もある

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1654	1	[共同通信社からの取材関連]	2004	9	10	中村毅(共同通信社)	書簡	コピー	1枚	取材の申込み 1652、1653と同送されたもの
1654	2	[共同通信社からの取材関連]	2004	9	17	中村毅(共同通信社)	書類	コピー	1枚	共同通信社までの道案内 FAX
1655		[FS-X開発関係]					書類	コピー	1綴(4枚)	「FS-X 選定作業の経緯」「FS-X各候補機種」「戦闘機体系」「開発線表概要(一列)」 いずれも「注意」朱印あり
1656		[防衛産業] 企業系列	1987	5	26		書類	コピー	1綴(2枚)	(1)地上装置(2)誘導弾 各々の開発・生産に関わる企業名を図示したものの「63要求資料」とある
1657		答弁資料「問 F-1の選定理由を問う」「問 T-4の国産化が決定するまでの経緯を問う」					書類	コピー	1綴(5枚)	「注意」朱印あり
1658		専門用語の説明					書類	コピー	1綴(4枚)	(1)CCV (2)電気式操縦装置 (3)直接揚力制御 (4)直接横力制御 (5)ステルス性 (6)複合材
1659		[手帖の部分コピー]				[宝珠山昇]	書類	コピー	1綴(2枚)	1981年5月部分 日米首脳会談関連
1660		[手帖の部分コピー]				[宝珠山昇]	書類	コピー	1枚	1981年4月部分に「国防会議での各閣僚の発言」『朝日新聞』(1981. 4. 28)が貼付されたページのコピー
1661		「総合安全保障研究グループ報告書」(『国防』)記事コピー	1980	9		政策研究会 総合安全保障研究グループ	記事	コピー	1綴(19枚)	
1662		「為替リスク対策」及び「飛行試験危険・損害負担問題」関連資料目録	2004	9		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(4枚)	
1663		[質問主意書及び答弁書]					書類	コピー	1綴(2枚)	参議院議員黒柳明(昭和57年7月22日付) 内閣総理大臣鈴木善幸(昭和57年8月3日)
1664		国際軍事情勢関係メモ	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	昭和55年当時、首相官邸や国防会議事務局に提出されていた防衛庁防衛局調査第2課作成資料のタイトル一覧のみ (付)資料配布の事実を報じる新聞記事のコピー
1665		防衛局長への業務説明(58.7)	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	昭和58年当時矢崎防衛局長に対する説明資料の目次のみ
1666		各国の非常事態法制等 58.11	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	総理府人事局主催「昭和58年度管理者啓発課程」参加時作成資料の目次のみ
1667		「56中業」の策定過程における「官邸」への説明資料目次	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(3枚)	
1668		「基盤的防衛力」整備の考え方(防衛局試案：昭和52.7.24)の作成過程資料	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1669		「防衛アンテナ」等参考図書目録	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	
1670		「総合安全保障関係閣僚会議」関連の保管資料〔リスト〕	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1枚	
1671		「国会想定問答集」等移管図書目録	2004	8		宝珠山昇	書類	コピー	1枚	
1672		衆議院予算委員会要求資料 F-15及びP-3Cを保有することの可否について	1978	2	14		書類	コピー	1綴(2枚)	
1673		F-15とP-3Cの国産品初度調達の回想(案)				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(3枚)	『中央調達50年史』編集部の要望に応じて作成したもの
1674		新戦闘機の選定作業の経緯と今後の方針について				防衛庁防衛局防衛課	〔冊子〕	コピー	1綴(12枚)	
1675		2 北東アジアの軍事環境(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(4枚)	傍線あり
1676		第二章 シー・レーンの発端(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(4枚)	傍線あり
1677		〔日米防衛協力関係〕(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(6枚)	
1678		年齢早見表(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	
1679		「基礎的防衛力構想」産みの親? (『西廣整輝 追悼集』の部分コピー)	1996	8		宝珠山昇	記事	コピー	1綴(2枚)	
1680		2「防衛を考える会」(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(2枚)	
1681		(1)間接侵略及びこれに付随する非公然武力行使の脅威(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	
1682		当初ベース(政府経済見通しベース)の防衛関係費実質伸率	1983	1			書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1683		空ファイル					書類綴		1点	もと1684～1724を綴じていた 表題「オーラルヒストリー」
1684		〔依頼状〕	2004	1	19	伊藤隆(政策研究大学院大学教授)	書簡		1枚	オーラルヒストリーへの協力依頼 封筒あり
1685		〔受諾の返信〕	2004	1	22	宝珠山昇	書簡	コピー	1枚	1684への〔伊藤隆 政策研究大学院大学教授宛〕返信
1686		オーラルヒストリーの流れ					書類	コピー	1枚	政策研究大学院大学が実施するオーラルヒストリーの手順等の説明 裏面に日程調整のメモあり
1687		政策研究大学院大学「オーラルヒストリー」関連メモ	2004	2		〔宝珠山昇〕	書類	印刷物	1綴(4枚)	第一回聴取後の修正・追加等 書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1688		〔自らの履歴に関するメモ〕				〔宝珠山昇〕	書類	鉛筆	1綴(2枚)	「東洋のスイスとなれ」「戦闘機がなぜいるの」(いずれも宝珠山昇著)のコピーの裏紙
1689		宝珠山昇氏第2回質問項目	2004	3	16	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(2枚)	
1690		〔聴取のための準備資料〕	2003	10	17	宝珠山昇	書類	印刷物	1綴(3枚)	「日本の防衛体制整備の流れ(主要項目：私見)」「主要な行政経験等」書込みあり
1691		〔宝珠山昇人事履歴〕					書類	コピー	1綴(6枚)	防衛庁内の人事データの打ち出しと思われる 一行切り取られている「履歴書」「教育研究業績書」
1692		宝珠山昇氏第三回質問項目	2004	4	16	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(4枚)	書込みあり
1693		宝珠山昇氏第四回質問項目	2004	5	17	COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局	書類	コピー	1綴(4枚)	書込みあり (付)案内状(FAX・郵送)
1694		宝珠山昇氏第五回質問項目	2004	6	18	COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局	書類	コピー	1綴(3枚)	書込みあり (付)案内状(郵送)
1695		宝珠山昇先生第六回質問項目	2004	7	21	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1696		宝珠山昇先生第七回質問項目	2004	8	25	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1697		宝珠山昇先生第八回質問項目	2004	9	14	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1698		宝珠山昇先生第九回質問項目	2004	10	20	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(2枚)	
1699		宝珠山昇先生第九回質問項目	2004	11	15	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1700		宝珠山昇先生第10回質問項目	2004	12	6	〔COE オーラル・政策研究プロジェクト事務局〕	書類	コピー	1綴(4枚)	
1701		〔三次防・四次防・P当時の業務年表〕					書類	コピー	1枚	Pは次期防計画の意味カ

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1702		次期防の当面の課題と方針(案)	1974	12	12	防衛局防衛課	書類	コピー	1綴(4枚)	ポスト4次防作業のために作成した手書き資料を2004年6月に宝珠山がタイプした (付) (別添1) 第4次防衛力整備5個年計画後の作成日程(案) 49. 12. 12 [表]
1703		先行して検討を要する4次防以後の主要問題について	1975	1	28		書類	コピー	1綴(7枚)	ポスト4次防作業促進のために作成した手書き資料を2004年6月に宝珠山がタイプした (付) 計画方式の比較/わが主要作戦及び主要作戦機能 [表] 「秘」印あり/陸・海・空自衛隊別所要作戦機能 [表] 「秘」印あり
1704		ポスト4次防関連保管文書目録	2004	6			書類	コピー	1枚	
1705		昭和52年度以後の防衛力整備5か年計画案の作成に関する長官指示(試案)	[1975]	[1]			書類	コピー	1綴(4枚)	ポスト4次防作業促進のために作成した手書き資料を2004年6月に宝珠山がタイプした (付) ローリング方式の一試案 [表]
1706		防衛力整備の現状と問題点	1975	4	18		書類	コピー	1綴(12枚)	1975年4月18日防衛研修所における講義の際に丸山防衛局長手持ち資料の一部を2004年6月に宝珠山がタイプした (付) 「防衛力整備の現状と問題点」(50. 5. 15) 「宝珠山」印有り 書込みあり
1707	1	P 4 の第 2 次長官指示国防会議議員懇談会説明要旨/P 4 の第 2 次長官指示の解説(大臣手持ち)	1975			西廣 [整輝] 防衛課長	書類	コピー	1綴(5枚)	坂田防衛庁長官の懇談会での説明の際の手持ち参考資料(手書き)を2004年6月に宝珠山がタイプした (付) 「常備すべき防衛力の考え方(概念図)」
1707	2	昭和52年度以後の防衛力整備計画案の作成に関する第二次長官指示について (『防衛アンテナ』記事コピー)	1975	11			記事	コピー	1綴(3枚)	
1708		昭和52年度以後の防衛力整備計画の作業について	1976	8	12	防衛庁防衛局防衛課	書類	コピー	1綴(2枚)	昭和51年7月12日付内閣総理大臣より国防会議議長へ発せられた「防衛計画の大綱について(諮問)」に対応するため関係省庁との調整用に作成した手書き資料を2004年6月に宝珠山がタイプしたもの (付) 防衛計画の大綱について(諮問)(国防第124号昭和51年7月12日)
1709		ポスト4次防関連保管文書目録	2004	6		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(5枚)	宝珠山が保管していた資料の一覧
1710		明確化された” 基盤的防衛力構想” - 「防衛計画の大綱」の特徴と課題- (『国防』記事コピー)	[1977]	1		小宇佐昇 [宝珠山昇カ]	記事	コピー	1綴(28枚)	
1711		昭和42年頃から昭和45年頃関連保管図書目録	2004	5		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(3枚)	宝珠山が保管していた資料の一覧
1712		4次防策定の経緯等 [表]					書類	コピー	1綴(7枚)	書込みあり (付) 4次防問題の経過 (刊行物の部分コピー)
1713		[4次防関係 航空自衛隊の航空機調達計画表]					書類	コピー	1綴(5枚)	(付) 新聞記事コピー

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1714		4次防審議資料(陸自関係 No01)	1969	10	22		書類	コピー	1綴(9枚)	一部分のみ 「防防秘第44号 秘は解除されない」印あり
1715		5 計画制度					書類	コピー	1綴(5枚)	「昭和55年7月作成の防衛局資料の抜粋」と書込みあり
1716		OR、PPBS等関連保管図書目録	2004	4		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(4枚)	宝珠山が保管していた資料の一覧 送り状を含む
1717	1	〔送り状〕	2004	3	30	宝珠山昇	書類	コピー	1枚	
1717	2	「統合作戦能力の検討」作業実施について	1968			宝珠山昇	書類	コピー	1綴(4枚)	1968年・1969年に防衛局長への説明のため作成したものを2004年3月に宝珠山がタイプしたもの
1717	3	我が国の防衛構想について(不明刊行物部分コピー)	1983				書類	コピー	1綴(11枚)	
1718		陸上所要防衛力の一試算	1972	2	6	宝珠山昇	書類	コピー	1枚	1970年2月6日に中曽根防衛庁長官に提出した資料を2004年3月に宝珠山がタイプしたもの 書込みあり
1719		「基礎的防衛力構想」の原型	2004	3		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(3枚)	書込みあり
1720		「第二次長官指示について」(『防衛アンテナ』記事コピー)	1975	12		防衛局防衛課	記事	コピー	1綴(3枚)	
1721		防衛力の内容〔『久保卓也：遺稿・追悼集』部分コピー〕	1974	6		久保卓也(防衛庁防衛局長)	記事	コピー	1枚	「我が国の防衛構想と防衛力整備の考え方」個人論文より抜粋とある
1722		〔講話〕(不明刊行物部分コピー)	1971	1	11	西廣整輝(防衛局防衛課部員)	記事	コピー	1枚	「防衛力整備計画作成の経緯と問題点」と題して西廣が防衛研修所で行った講話より抜粋とある
1723		陸自関係計画の問題点と整理の方向	1969	12	6	宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	手書きで作成した「四次防構想防衛課概案」局内審議資料を2004年3月に宝珠山がタイプしたもの
1724	1	〔防衛研究臨時委員会、制度調査委員会等に関するもの〕				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(7枚)	防衛局計画官付当時の手書きメモを2004年3月に宝珠山がタイプしたものの 書込みあり
1724	2	〔防衛研究臨時委員会、制度調査委員会等に関するもの〕(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(7枚)	書込みあり 1724-1の参考資料カ
1725		空ファイル					書類綴		1点	もと1726～1751が綴じられていた 表題「オーラルヒストリー関係」
1726		〔防衛年表〕(〔防衛白書カ〕記事コピー)					記事	コピー	1綴(2枚)	書込みあり
1727		〔宝珠山昇人事履歴〕					書類	コピー	1枚	防衛庁内の人事データの打ち出しカ 書込みあり
1728		「基盤的防衛力」構想の背景、策定経過関連メモ				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(5枚)	手書きメモだったものを2004年6月に宝珠山が補足してタイプしたものの 書込みあり 聴取時のメモあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1729		調達実施本部契約第四課長勤務メモ				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	1978年～1979年頃のノートを2004年8月に宝珠山がタイプしたもの 実際の範囲は1976年～1979年
1730		防衛局調査第二課長&計画官勤務メモ				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(4枚)	1979年～1983年頃のノートを2004年8月に宝珠山がタイプしたもの
1731		人事教育局人事第三課長勤務メモ				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(2枚)	1983年～1985年頃のノートの一部を2004年9月に宝珠山がタイプしたもの 一部が切り取られている
1732		防衛局防衛課長以後勤務メモ				宝珠山昇	書類	コピー	1綴(7枚)	1985年～1987年頃のノートの一部を2004年12月に宝珠山がタイプしたもの 実際の範囲は1983年～1996年
1733		〔防衛年表〕〔防衛白書カ〕の記事切抜					記事	印刷物	1綴(9枚)	書込みあり
1734		〔防衛年表〕〔防衛白書カ〕の記事切抜					記事	印刷物	1綴(2枚)	書込みあり
1735		〔防衛に関する諸外国のデータ〕〔防衛白書カ〕の記事切抜					記事	印刷物	1綴(7枚)	書込みあり
1736		略語表及び略語索引/我が国主要部隊の所在地〔防衛白書カ〕の記事切抜					記事	印刷物	1綴(5枚)	
1737		日記等抜粋	2004	3		宝珠山昇	書類	コピー	1綴(3枚)	1950年～1991年の防衛関係事項と自分の経歴を時系列に並べてタイプしたもの 書込みあり
1738	1	〔宝珠山昇人事履歴〕					書類	コピー	1枚	2の原本 防衛庁内の人事データの打ち出しカ 訂正書込みあり 付箋あり
1738	2	〔宝珠山昇人事履歴〕					書類	コピー	1綴(5枚)	履歴書/教育研究業績書 防衛庁内の人事データの打ち出しカ
1739		〔1945年～2003年防衛・国内・国際に関する年表〕					書類	コピー	1綴(3枚)	書込みあり
1740		日本の防衛体制整備の流れ(主要項目:私見)	2003	10	17	宝珠山昇	書類	コピー	1枚	書込みあり
1741		防衛力整備の流れ					書類	コピー	1枚	
1742		〔1989年～1996年防衛・国内・国際に関する年表〕〔防衛白書カ〕の記事コピー					記事	コピー	1綴(14枚)	
1743		〔海原治〕(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(2枚)	海原治のオーラルヒストリーの「あとがき」(政策研究大学院大学教授伊藤隆) 「海原治 略歴」 書込みあり
1744		〔久保卓也〕(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	略歴 書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1745		[伊藤圭一] (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	略歴 書込みあり
1746		基礎資料 選挙・政党・カネ					書類	印刷物	1綴(4枚)	インターネット上の日本の選挙を分析するサイトからの打ち出しか 書込みあり 年表が貼付されている
1747		[米国大統領選挙] (『読売新聞』記事コピー)				読売新聞社	記事	コピー	1枚	平成16年3月4日付記事
1748		[防衛庁幹部の一覧] (不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(7枚)	2冊の刊行物からの抜粋 書込みあり
1749		表3 久保卓也関係年表(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	書込みあり
1750		[西廣整輝] 年譜(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(3枚)	昭和63年6月に防衛事務次官就任とあることから西廣整輝のものと推定
1751		保安庁組織表(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	「海原氏の資料のコピー2004年2月27日」との書込みあり
1752		空ファイル					書類綴		1点	もと1753～1812が綴じられていた 表題「オーラルヒストリー関係」 「2004年3月からのオーラル・ヒストリー・プロジェクトに際して預けた資料の重複分やなお手元に置きたいと考えた資料のコピー等」と書込みあり
1753		4次防以後の防衛力整備計画制度について	1975	2	6		書類	コピー	1綴(10枚)	防衛庁罫紙
1754		防衛上の「脅威」及び「潜在的脅威」について(私案)	1980	11	1	防衛局調査第2課長	書類	コピー	1綴(3枚)	防衛庁罫紙 「指定前秘密」朱印あり
1755		米・ソ緊張緩和の中での日本の防衛				[宝珠山昇]	書類	印刷物	2枚	防衛庁罫紙裏面へのワープロ打出し 書込みあり
1756		[講演草稿]	1990	12	12	[宝珠山昇]	書類	鉛筆	1枚	書込みあり
1757		動き出した世界再編と日本(参考要点メモ)					書類	コピー	1綴(3枚)	マーカーでチェックあり
1758		日米安保事務レベル協議開催状況 [表]					書類	コピー	1綴(3枚)	第1回～第19回の期間、開催場所、日米参加者名の一覧表 マーカーでチェックあり
1759		日米防衛首脳会談実施状況(50年1月以降) [表]					書類	コピー	1綴(2枚)	
1760		[日本周辺有事の対応に関するレジュメ]					書類	コピー	1枚	書込みあり
1761		GNP1%以内の「当面」の意味 [国会会議録]					書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁罫紙に貼付された昭和52年頃の国会会議録の切抜き
1762		「基盤的防衛力」整備の考え方(防衛局試案)	1976	7	24		書類	コピー	1綴(2枚)	「防防秘第51-23号」「防防保51第276号」「秘」印あり 1789の部分コピー

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1763		5. 防衛庁における防衛諸計画の体系(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(2枚)	
1764		〔巻頭序言〕(不明刊行物部分コピー)	1966	6		竹下正彦(陸上自衛隊幹部学校長・陸将)	記事	コピー	1綴(2枚)	
1765		はじめに(不明刊行物部分コピー)	1967	4		朝日新聞安全保障問題調査会	記事	コピー	1綴(2枚)	
1766		無責任な非武装国家論に反駁する 佐橋論文に対する反論(不明刊行物部分コピー)				熊谷晃雄(防衛研修所所員)	記事	コピー	1綴(5枚)	
1767		〔まえがき、目次、総力戦研究所職員等名簿(『総力戦研究所』森松俊夫著 白帝社発行の一部)〕(不明刊行物部分コピー)	1983	5			記事	コピー	1綴(12枚)	
1768		〔大綱策定時と計画作成時の予定防衛能力の数量的比較の表〕					書類	コピー	1綴(3枚)	「海上交通保護能力」／「防空戦闘能力」／「着上陸侵攻阻止能力」 「極秘」印あり
1769		「シベリアン・コントロール」に関する質問への回答	2000	2	11	宝珠山昇	書類	コピー	1枚	
1770		武器の範囲について(とりあえずの私見)	1991	7	3	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1枚	
1771		〔PKFにおける武器使用に関する私見〕	1991	9	3	〔宝珠山昇〕	書類	コピー	1枚	「事務次官 官房長 防衛局長殿限り」とある
1772		「各国の防衛力と日本」(『スチールデザイン』No. 166 記事コピー)				小宇佐昇〔宝珠山昇カ〕	記事	コピー	1綴(7枚)	
1773		〔防衛関係の調達における契約方法の種類〕 〔表〕					書類	コピー	1枚	防衛庁罫紙
1774		四次防問題の経過〔表〕					書類	コピー	1枚	
1775		〔海上防衛に関するもの〕(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(8枚)	目次、「第4章 海上防衛の実施 第1節 海上作戦の概念 他」 ページ毎に「秘」と印字 書込みあり
1776	1	衆議院予算委員会要求資料 F-15及びP-3Cを保有することの可否について	1978	2	14		書類	コピー	1綴(2枚)	
1776	2	〔衆議院予算委員会要求資料〕 核兵器の保有に関する憲法第九条の解釈についての補足説明	1978	4	3		書類	コピー	1綴(4枚)	
1776	3	〔衆議院予算委員会要求資料〕 核兵器の保有に関する憲法第九条の解釈について	1978	3	9		書類	コピー	1綴(2枚)	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1776	4	〔衆議院予算委員会要求資料〕 F-15の対地攻撃機能及び空中給油装置について	1978	3	4		書類	コピー	1綴(5枚)	「取扱いにつき特に注意すること」印あり
1776	5	〔衆議院予算委員会要求資料〕 F-15の対地攻撃機能及び空中給油装置について(要旨)	1978	3	4		書類	コピー	1綴(3枚)	「取扱いにつき特に注意すること」印あり
1777		五六中業の詳解と今後の課題	1982	9	9	講師：宝珠山昇(防衛庁防衛局計画官)	書類	印刷物	1綴(5枚)	(株)日本計画研究所主催第832回研究セミナーのレジュメ (付)参加者名簿
1778	1	〔五六中業関連〕 洋上阻止〔図〕					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」「会議終了後回収」朱印あり 書込みあり 付箋あり
1778	2	〔五六中業関連〕 防空態勢〔図〕					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」「会議終了後回収」朱印あり 書込みあり
1778	3	〔五六中業関連〕 情報収集・早期警戒態勢〔図〕					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」「会議終了後回収」朱印あり 書込みあり
1778	4	〔五六中業関連〕 洋上阻止〔図〕					書類	コピー	1枚	「指定前秘密」「会議終了後回収」朱印あり 1777-1のオリジナル 書込みあり
1778	5	〔五六中業関連〕 第1線相対戦闘力推移(枝幸・浜頓別、道東)〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり
1778	6	〔五六中業関連〕 第1線相対戦闘力の推移(稚内正面)〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後御返却願います」朱印あり マーカーでチェックあり
1778	7	〔五六中業関連〕 ソ連侵攻兵力と防護対象〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり マーカーでチェックあり
1778	8	〔五六中業関連〕 海上交通保護作戦〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり マーカーでチェックあり
1778	9	〔五六中業関連〕 通峽阻止〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり マーカーでチェックあり
1778	10	〔五六中業関連〕 海上交通保護(洋上における防護)検討成果－撃沈率－〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり マーカーでチェックあり
1778	11	〔五六中業関連〕 海上交通保護(洋上における防護)検討成果－船舶被害隻数－〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり マーカーでチェックあり
1778	12	〔五六中業関連〕 上陸侵攻のシナリオ〔図〕					書類	コピー	1枚	「極秘」「会議終了後回収」朱印あり マーカーでチェックあり
1779		〔1967年～1978年防衛・国内・国際に関する年表〕(〔防衛白書カ〕の記事コピー)					記事	コピー	1枚	本田優宛メモあり
1780		わが国の防衛を自前でやるとした場合の費用、人員、装備	1969	6	17		書類	コピー	1綴(9枚)	(付)本文書作成の経緯、新聞広告切抜

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1781		所要防衛力の概要					書類	コピー	1枚	「秘」印あり
1782		〔□次防原案と□次防(成立)他の兵力・経費の比較表〕					書類	コピー	1枚	
1783		昭和52年度以後の防衛力整備計画案の作成に関する第2次長官指示	1975	10	29	防衛庁長官	書類	コピー	1綴(4枚)	「長官指示第5号」
1784		わが国の用兵構想と兵備の歩み					書類	青焼	1枚	
1785		〔第4次防衛力整備5ヵ年計画の大綱関連の閣議決定等〕(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1枚	
1786		常備すべき防衛力の検討について(依頼)	1975	2	15	防衛局防衛課長	書類	コピー	1綴(9枚)	「防防第556号」「防防秘第50-4号 昭和51年12月31日までに破棄」「防防保50第29号」「秘」印あり 宛先:陸上幕僚監部第3部長、海上幕僚監部防衛部長、航空幕僚監部防衛部長、統合幕僚会議事務局第5幕僚室長
1787		昭和52年度以後の防衛力整備計画案の作成指示について	1975	4	1		書類	印刷物	1枚	
1788		昭和52年度以後の防衛力整備計画案の作成に関する長官指示	1975	4	1	防衛庁長官	書類	印刷物	1綴(4枚)	「長官指示第2号」
1789		常備すべき防衛力の検討について(通達)	1975	4	7	防衛事務次官	書類	コピー	1綴(8枚)	「防防防第1529号」「防防秘第50-8号」「防防保50第146号」「秘」印あり 宛先:各幕僚長、統合幕僚会議議長
1790		「基盤的防衛力」整備の考え方(防衛局試案)	1976	7	24		書類	印刷物	1綴(13枚)	「防防秘第51-23号」「防防保51第276号」「秘」印あり 1762の原本
1791	1	わが主要作戦及び所要作戦機能〔表〕					書類	コピー	1枚	「秘」印あり マーカーでチェックあり
1791	2	陸・海・空自衛隊別所要作戦機能〔表〕					書類	コピー	2枚	「秘」印あり
1791	3	〔4次防の大綱に抛る海上防衛構想〕〔表〕					書類	コピー	1枚	「秘」印あり マーカーでチェックあり
1792		〔我が国の防衛の基本について述べた挨拶文原稿〕	1975	8	29		書類	コピー	1綴(2枚)	防衛庁罫紙
1793		「防衛計画の大綱」等について〔レジュメ〕	1976	10	25		書類	コピー	1枚	
1794		国防会議議長懇談会(第2回)資料案	1964	8	24	防衛局第1課長	書類	タイプ	1綴(6枚)	I 米国の世界戦略の動向 II 我が国防衛上の諸問題 書込みあり
1795	1	ST 長官説明資料 No.1 基本的な考え方についての選択	1975	10	20	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	
1795	2	ST 長官説明資料 No.2 ポスト4次防 基本的にどう考えるのか(選択)	1975	10	20	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1795	3	ST 長官説明資料 No.3 従来の考え方とポスト4次防(案)との比較	1975	10	21	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	
1796	1	統幕の認識	1975	10	25	〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1綴(3枚)	「25日1315～1415 長官に説明」と書込みあり
1796	2	ST 長官説明資料 No.1 基本的な考え方についての選択	1975	10	20	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	
1796	3	ST 長官説明資料 No.2 ポスト4次防 基本的にどう考えるのか(選択)	1975	10	20	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	
1796	4	ST 長官説明資料 No.3 従来の考え方とポスト4次防(案)との比較	1975	10	21	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	
1797	1	LG 長官説明資料 No.1 正面、後方及び抗たん性	1975	10	29	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	「29～30 秘書官に提出のもの(長官説明はしていない)」と書込みあり
1797	2	戦闘力発揮のための支え(例示)	1975	10	30	統幕〔統合幕僚会議〕	書類	コピー	1枚	
1798		防衛力整備の現状と問題点	1975	10	15		書類	コピー	1綴(2枚)	「宝珠山」印あり レジюме
1799		第5次防衛力整備5個年計画(仮称)作成日程(案)	1974	12	12		書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 書込みあり
1800		計画方式の比較					書類	コピー	1枚	防衛庁野紙 「5か年固定方式・ローリング方式」
1801	1	わが主要作戦及び所要作戦機能〔表〕					書類	コピー	1枚	「秘」印あり 1791-1と同文
1801	2	陸・海・空自衛隊別所要作戦機能〔表〕					書類	コピー	3枚	「秘」印あり 1791-2と同文
1802		〔解説図〕					書類	コピー	1綴(7枚)	説明用フリップボードのようなもの 「極東における各国の軍事力」「朝鮮半島の軍事情勢」「わが国周辺におけるソ連艦艇・航空機の動向」「国防の基本方針(昭32.5.20決定)」「1次防、2次防、3次防の特徴」「4次防の主要整備内容」「防衛力推移表(各計画期間期末)」
1803	1	〔日本の防衛域を示す略図〕					書類	コピー	1枚	4点 防衛庁野紙の裏紙(表は日米情報連絡会議の説明)に貼付したもの
1803	2	〔東京を中心とした半径4000km圏の地図〕					書類	コピー	1枚	
1804		防衛力の比較〔表〕					書類	コピー	1枚	陸海空の昭和40年度及び50年度を比較したもの
1805		第43図 本機の国外行動範囲〔地図〕					書類	コピー	1枚	書込みあり
1806		主要地点間の直線距離(海里)〔地図〕					書類	コピー	1枚	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
1807		〔日本の防衛行動海域〕〔地図〕					書類	コピー	1枚	「秘」印字あり 「3次防海域、庁・案海域、最終案海域」が図示されている
1808		〔日本の防衛行動空域〕〔地図〕					書類	コピー	1枚	刊行物の部分コピー
1809		〔日本のレーダー覆域〕〔地図〕					書類	コピー	1枚	
1810		ナイキ部隊配置図〔地図〕					書類	コピー	1枚	
1811		わが国周辺における両陣営の軍事態勢〔地図〕	1975	1	7		書類	コピー	1枚	
1812		国の防衛の基本方針(1～4次防の変遷等)〔表〕					書類	コピー	1枚	
1813		防衛計画の大綱解説	1976	10	27		録音		カセットテープ1本、封筒1枚	カセットテープ 「昭和52年度以降に係る防衛計画の大綱について」(1976年10月29日閣議決定)について、主要紙論説委員等に対し西廣整輝防衛庁防衛局防衛課長が解説した際に録音されたもの。防衛庁側出席者は坂田道太防衛庁長官、丸山昇防衛事務次官、鮫島博一統合幕僚会議議長、宝珠山昇防衛庁防衛局防衛課先任部員ほか。
1814		防衛計画の大綱解説	2004				テープ起こし原稿	印刷物	1綴(29枚)	1-1の録音を専門業者によって書き起こしたもの。冒頭に録音の経緯を記した宝珠山の文章がある。

第2部 刊行物の部

1 防衛庁刊行物

2001		『昭和52年執務参考資料集』	1977			防衛庁	冊子	印刷物	1冊	書込み、貼込みあり 「取り扱いには特に御注意下さい」朱印あり
2002		『昭和57年執務参考資料集』(付)昭和57年執務参考資料集 別冊 昭和57年11月	1982			防衛庁	冊子	印刷物	2冊	書込み、貼込み、挟込みあり 「注意」朱印あり
2003		『昭和59年執務参考資料集』(付)昭和59年執務参考資料集 別冊 昭和59年11月	1984			防衛庁	冊子	印刷物	2冊	「注意」と印字あり
2004		『昭和61年執務参考資料集』	1986			防衛庁	冊子	印刷物	1冊	書込み、貼込みあり 「注意」と印字あり
2005		『昭和62年執務参考資料集』	1987			防衛庁	冊子	印刷物	1冊	書込み、貼込みあり、挟込みあり 「注意」と印字あり
2006		『平成元年執務参考資料集』	1989			防衛庁	冊子	印刷物	1冊	書込み、貼込みあり、挟込みあり 「注意」と印字あり
2007		『わが国の防衛のあり方に関する入選論文集』	1966	9		防衛庁	冊子	印刷物	1冊	書込みあり、貼込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2008		『THE DEFENSE OF JAPAN(ENGLISH TRANSLATION)』	1970	10		JAPAN DEFENSE AGENCY	冊子	印刷物	1冊	
2009		『自衛隊と憲法(資料集)』	1988	1			冊子	印刷物	1冊	
2010		『防衛庁職員名簿(平成元年9月1日)現在』	1989	9	1	人事局	冊子	印刷物	1冊	書込み修正あり
2011		『文民統制と国防会議』	1977	6			冊子	印刷物	1冊	書込み修正あり
2012		『シビリアン・コントロール(国会会議録集粹)』	1978	7		防衛庁	冊子	印刷物	1冊	書込み修正あり
2013		『事務概要』	1980	7		防衛局	冊子	印刷物	1冊	書込みあり 「取り扱いには御注意下さい」と印字あり (付)14 諸外国の軍事情勢〔詳細版〕 刊行物の一部分(pp. 97-155)
2014		『統合教範2-0 統合符号・記号教範』	1968	3		統合幕僚会議	冊子	印刷物	1冊	
2015		『研究資料第14号 非常立法の本質―「国家非常措置の法制的研究」委託調査報告書―』	1962	3		防衛研修所	冊子	印刷物	1冊	書込みあり
2016		『研究資料74R0-5 文民統制の研究』	1974			防衛研修所	冊子	印刷物	1冊	「注意」朱印あり
2017		『講義資料86LC軍-5(再版)クラウゼヴィッツの戦争論 講義資料』	1986	9		[防衛研修所]	冊子	印刷物	1冊	
2018		『講義資料86L0軍-3 陸上戦力』 (付)講義資料86L0軍-3 陸上戦力 別冊	1986	8		[防衛研修所]	冊子	印刷物	2冊	第34期一般課程軍事コースで使用
2 その他刊行物(含 宝珠山昇執筆記事)										
2019		『自衛の哲学―限定反応戦略について― MY PHILOSOPHY ON SELF-DEFENSE-ON STRATEGY OF LIMITED RESPONSE-』	1971	10	11	西村直己(国務大臣防衛庁長官)	冊子	印刷物	1冊	外国特派員クラブ演説テキスト和英文併記
2020		『レーガン米国大統領の一般教書 1982年1月26日』	1982	3	1	アメリカ大使館国際交流局	冊子	印刷物	1冊	
2021		『総合安全保障研究グループ報告書』	1980	7	2	政策研究会・総合安全保障研究グループ	冊子	印刷物	1冊	
2022		『REPORT ON COMPREHENSIVE NATIONAL SECURITY (Translation)』	1980	7	2	THE COMPREHENSIVE NATIONAL SECURITY STUDY GROUP	冊子	印刷物	1冊	上記資料の英訳

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2023		『日米同盟プロジェクト論文集(97年度国際会議)』	1997	1	9	主催：国際経済政策調査会、岡崎研究所、Pacific Forum/CSIS	冊子	印刷物	1冊	(付)日米安全保障関係の再構築プロジェクト東京会議 1997年1月13日〔日程〕、〔参加者名簿〕(英文)／在日米軍駐留関連経費の推移
2024		『国際国家日本の総合安全保障政策 平和問題研究会報告書』	1985	4		内閣審議室	冊子	印刷物	1冊	同文2冊 1冊にはマーカーでチェックあり
2025		『アジア太平洋時代の安全保障』				中曽根康弘	冊子	印刷物	1冊	(財)世界平和研究所刊行 英文版も収録
2026		『アメリカの防衛・相互安全保障条約と協定(太平洋地域関係)』	1969	10	31	アメリカ大使館広報文化局報道出版部	冊子	印刷物	1冊	英文版も収録 正誤表あり
2027		『日本の防衛－防衛白書のあらまし－』	1977	8		防衛庁	冊子	印刷物	1冊	
2028		『日本の安全を守るには－安全保障についての政府の考え方－』	1969	5		総理府	冊子	印刷物	1冊	「防衛課長」印、「今泉」印あり マーカーでチェックあり
2029		『日本の国防』	1967	11		三輪良雄(防衛事務次官)	冊子	印刷物	1冊	書込み修正あり
2030		『時の動き－政府の窓－』 第13巻第13号	1969	7	1	総理府	雑誌	印刷物	1冊	
2031		『第三次防衛力整備計画について』	[1967]				冊子	印刷物	1冊	書込みあり
2032		[六二] 安全保障(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(6枚)	(付)〔用語集〕安全保障の部分
2033		『日本の防衛』	1970	10		防衛庁	冊子	印刷物	1冊	マーカーでチェックあり
2034		防衛力の創設と推移 他(不明刊行物部分コピー)					記事	コピー	1綴(8枚)	マーカーでチェックあり
2035		国産航空機要目標(日本航空工業会調) 他(不明刊行物の一部分)					記事	印刷物	1綴(10枚)	
2036		『調査月報』 第244号	1976	4		内閣官房内閣調査室	雑誌	印刷物	1冊	
2037		見過ごせぬ「四次防絶望」発言(『正論』記事コピー)	1975	1		小谷秀二郎	記事	コピー	1綴(4枚)	
2038		「平和時」の防衛力－一つのアプローチ(『国防』記事コピー)	1973	4		久保卓也(防衛庁防衛局長)	記事	コピー	1綴(8枚)	書込みあり
2039		4次防の全容－策定経過、性格および特徴－(『装備年鑑』記事コピー)	1973			朝雲新聞社	記事	コピー	1綴(21枚)	書込みあり

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2040		座談会 次期防の課題と取組方を探る(『国防』記事コピー)	1975	1		佐藤義夫・堀武彦・井川一(司会) 田中正雄	記事	コピー	1綴(24枚)	書込みあり
2041		『現代の軍事力と日本の防衛』	1977	9	30	朝雲新聞社編集局	冊子	印刷物	1冊	
2042		『調査月報』 第129号	1966	9		内閣官房内閣調査室	雑誌	印刷物	1冊	
2043		『調査月報』 第239号	1975	11		内閣官房内閣調査室	雑誌	印刷物	1冊	
2044		『調査月報』 第244号	1976	4		内閣官房内閣調査室	雑誌	印刷物	1冊	神谷不二「日米安保の安定」(『朝雲』1976年1月29日掲載)貼込みあり 書込みあり
2045		『調査月報』 第252号	1976	12		内閣官房内閣調査室	雑誌	印刷物	1冊	
2046		非核国家における防衛構想の論理ー戦争抑止の観点における平時防衛のあり方を中心としてー(『国防』記事コピー)	1971	7		井星英(防衛庁防衛研修所教官)	記事	コピー	1綴(8枚)	書込みあり
2047		『注目』 創刊記念号	1978	1		新政研クラブ注目発行所	雑誌	印刷物	1冊	
2048		『海外事情』 第44巻第4号	1996	4		拓殖大学海外事情研究所	雑誌	印刷物	1冊	特集 日米同盟の再考 片岡鉄哉「論点 台湾有事の準備はあるか」(『自由民主』1996年4月号掲載)挟込みあり
2049		『日中問題を考えよう』	1971	3	25	財団法人大陸問題研究所	冊子	印刷物	1冊	
2050		『転換期の日本経済』	1973	12		金森久雄(日本経済研究センター理事長)	冊子	印刷物	1冊	世界の中の日本経済シリーズ1(財団法人世界の動き社刊)
2051		『国際経済環境の変化』	1973	12		加藤寛(慶応義塾大学教授)	冊子	印刷物	1冊	世界の中の日本経済シリーズ2(財団法人世界の動き社刊)
2052		『国際協調の新分野』	1974	1		島野卓爾(学習院大学教授)	冊子	印刷物	1冊	世界の中の日本経済シリーズ3(財団法人世界の動き社刊)
2053		『日本の資源問題』	1974	2		深海博明(慶応義塾大学助教授)	冊子	印刷物	1冊	世界の中の日本経済シリーズ4(財団法人世界の動き社刊)
2054		『わが国の進路』	1973	12		前アジア開発銀行総裁 渡辺武	冊子	印刷物	1冊	世界の中の日本経済シリーズ5(財団法人世界の動き社刊)
2055		『現代の安全保障』 第29号	1983	4		安全保障問題研究所	雑誌	印刷物	1冊	5周年記念特集号
2056		『朝日ジャーナル』 第10巻第19号	1968	5	12	朝日新聞社	雑誌	印刷物	1冊	特集 対米追従外交の破綻
2057		『朝日ジャーナル』 第11巻第2号	1969	1	12	朝日新聞社	雑誌	印刷物	1冊	特集 '70年の選択と日本の進路

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2058		『日本の風』 創刊号	2005	3	25	財団法人防衛弘済会	雑誌	印刷物	1冊	「「基盤的防衛力構想」産みの親 宝珠山昇」 掲載号
2059		『非武装中立論』	1981	5	1	石橋政嗣著 日本社会党中央本部機関紙局発行	書籍	印刷物	1冊	第8刷 書込み・貼込みあり
2060		『日本の安全保障』	1966	12	5	佐伯喜一著 財団法人日本国際問題研究所発行	書籍	印刷物	1冊	
2061		『自衛隊に関する100問集』	1967	3	20	武田延編著 田中書店発行	書籍	印刷物	1冊	
2062		『昭和八年改訂軍制学教程』 巻二					書籍	印刷物	1冊	書き込みあり
2063		『国際法』	1957	3	5	横田喜三郎著 勁草書房発行	書籍	印刷物	1冊	「法学」叢書(9) 書込みあり
2064		『戦争法』	1952	5	10	前原光雄著 慶應通信発行	書籍	印刷物	1冊	
2065		『警察法 防衛法』	1968	11	20	田上穰治・杉村敏正著 有斐閣発行	書籍	印刷物	1冊	法律学全集12 初版第11刷 (業)法律学全集 No. 17
2066		安保にポアされる日本人(『Voice』記事切抜)	1995	11		霍見芳浩 PHP研究所	記事	印刷物	1綴(7枚)	書込みあり
2067		「米中新冷戦」の時代 中嶋嶺雄／中西輝政「日米安保は永遠ならず」(『Voice』記事切抜)	1995	12		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(19枚)	書込みあり
2068		(『Voice』記事切抜)	1996	1		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(32枚)	片岡鉄哉「クリントン氏の憂鬱」／谷沢永一「あほバカ間抜け「天声人語」」／田久保忠衛「那覇の「反日」 東京の愚鈍」他 書込みあり
2069		(『Voice』記事切抜)	1996	2		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(36枚)	宝珠山昇／岡崎久彦「「安保堅持」は念仏か」、ロナルド・モース／櫻井よしこ／田久保忠衛「十年たったら米中同盟」他 書込みあり
2070		沖縄基地問題と私(『Voice』記事切抜)	1996	4		宝珠山昇 PHP研究所	記事	印刷物	1綴(7枚)	
2071		(『Voice』記事切抜)	1996	5		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(36枚)	江藤淳「日米安保と日本の防衛」／中西輝政「「基地なき安保」の時代へ」／岡崎久彦／片岡鉄哉「日本よ、野心を抱け」／古森義久「片務条約はいらない」他 書込みあり
2072		クリントン訪日が証明した私の“無実”(『文藝春秋』記事切抜)	1996	6		宝珠山昇 文藝春秋社	記事	印刷物	1綴(5枚)	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2073		(『Voice』記事切抜)	1996	7		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(17枚)	猪木正道「吉田茂の呪縛」／佐瀬昌盛「『集団的自衛権』解釈の怪」書込みあり
2074		防衛産業は生き残れるか(『Voice』記事切抜)	1996	7		荒井寿光 PHP研究所	記事	印刷物	1綴(6枚)	
2075		(『Voice』記事切抜)	1996	8		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(25枚)	堺屋太一「魅力ある国」をめざして」／和田春樹「日下公人氏に反論する」／岡崎久彦「キッシンジャーの夢」他
2076		(『Voice』記事切抜)	1998	9		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(25枚)	中曽根康弘「怨念政治を超えて」／日下公人、渡部昇一「戦争設計のすすめ」／中西寛「高坂正堯教授の宿題」／石原慎太郎、伊藤憲一「大国の横暴、小国の沽券」 書き込みあり
2077		(『Voice』記事切抜)	1996	10		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(23枚)	佐瀬昌盛「有事に豹変する国」／富山泰「現地報告アメリカの期待」／前原誠司「日本にできる防衛協力」他 書き込みあり
2078		北朝鮮論争マトリックス(『Voice』記事切抜)	1996	10		武貞秀士 PHP研究所	記事	印刷物	1綴(5枚)	書き込みあり
2079		(『文藝春秋』記事切抜)	1996	10		文藝春秋社	記事	印刷物	1綴(23枚)	真神博「大田昌秀ある反戦政治家の正体」／麻生幾「徹底調査米軍基地の一坪地主三千人」(付)「一坪地主に大田知事ブレーン」(『世界日報』平成8年9月9日掲載コピー)、辻村明「<正論>婆抜きゲームから脱却せよ」(『産経新聞』平成8年9月7日掲載)、田久保忠衛「<正論>沖縄県民投票のデマゴギー」(『産経新聞』平成8年9月10日掲載)、久保紘之「沖縄が答えた「沈黙の事実」」(掲載紙不明 平成8年9月9日掲載)他 書き込みあり
2080		(『Voice』記事切抜)	1996	11		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(12枚)	片岡鉄哉「国権の党、民権の党」、長谷川三千子「国体としての民主主義」(部分、後欠) 書き込みあり
2081		(『THIS IS 読売』記事切抜)	1996	11		読売新聞社	記事	印刷物	1綴(20枚)	北岡伸一「安保論議の閉塞状況を打開せよ」／西修「共生の権利を求めて」／井沢元彦「<メディア月評>沖縄問題は思考停止のツケ」／宝珠山昇「沖縄海兵隊、本土移転のススメ」 書き込みあり
2082		(『Voice』記事切抜)	1996	12		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(25枚)	渡部昇一「謝罪政権はいらない」／森本敏「さらばアメリカ海兵隊」／中静敬一郎「『尖閣有事』に対処せよ」／伊奈久喜「平時と戦時のあいだ」
2083		(『Voice』記事切抜)	1998	10		PHP研究所	記事	印刷物	1綴(45枚)	五百旗頭真「猛きアメリカ、優しい日本」／渡部昇一・日下公人「ナンバー2国家の処世術」／竹中平蔵「米国が手にした「第三の力」」／古森義久「経済帝国を動かす思想」／森本敏「これでいいのか周辺事態法」／前原誠司「日米防衛協力論議の盲点」／宝珠山昇「核拡散防止とTMD導入」他

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2084		戦後防衛の歩み〔『朝雲新聞』記事切抜〕	1988～1991			防衛庁史室編 朝雲新聞社発行	記事	印刷物	185点	連載予告(昭和63年10月27日)、第1回(昭和63年11月3日)～第129回(平成3年8月15日)(付)〔各回見出し・表題一覧表〕、重複分(第87回～第129回)
2085		『中央公論』	1974	3		中央公論社	記事	印刷物	1綴(9枚)	蠟山道雄「掲載核戦略の意義と日本の将来」 書込みあり
2086		猪木防大校長に聞く “反戦隊員”事件の背景と問題点(『朝雲新聞』記事切抜)	1972	6	1	朝雲新聞社	記事	印刷物	1点	
2087		変容する米の核戦略(『朝日新聞』記事切抜)	1974	4	22	朝日新聞社	記事	印刷物	1点	
2088		1974年の主なできごと(〔掲載誌不明〕記事切抜)					記事	印刷物	1点	
2089		中国、新体制整う／中国新憲法、党の権威前面に(『読売新聞』記事切抜)	1975	1	19, 20	読売新聞社	記事	印刷物	2点	
2090	1	米、核持ち込み寄港／「核」黙認した歴代政府いまこそ国民に真実を(『毎日新聞』記事切抜)	1981	5	18	毎日新聞社	記事	印刷物	2点	
2090	2	核持ち込みのライシャワー証言 日米両政府に強い衝撃／ライシャワー・ショック走る／核持ち込み…やっぱり(『毎日新聞』記事切抜)	1981	5	18	毎日新聞社	記事	印刷物	3点	
2090	3	核積載米艦の日本寄港 21年前から了解済み／崩れ去った非核神話／「核」やっぱり入港(『朝日新聞』記事切抜)	1981	5	18	朝日新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	4	米艦、核持ち込み寄港 ライシャワー元大使明言／ライシャワー発言 野党徹底迫及の構え(『読売新聞』記事切抜)	1981	5	18	読売新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	5	「非核」見直し、一度は決意／「三原則」守る大衆運動(社説)非核三原則の堅持に全力を「だまされていたと基地住民」(『毎日新聞』記事切抜)	1981	5	19	毎日新聞社	記事	印刷物	4点	
2090	6	「核積載艦寄港」詰めず 安保改定時／不透明さ残る「安保」／「三原則」建前とズレ(社説)非核三原則の解釈は譲れない／「国民だまし」露呈(『朝日新聞』記事切抜)	1981	5	19	朝日新聞社	記事	印刷物	4点	

宝珠山昇関係文書(第2次受入分)目録

資料番号	枝番号	タイトル	西暦	月	日	作成者	形態	記述法	数量	備考
2090	7	政府「核寄港」否定で通す／暴かれる21年間の虚構／核定着化ねらう？米戦略／今なら本音も大丈夫の読み(『読売新聞』記事切抜)	1981	5	19	読売新聞社	記事	印刷物	3点	
2090	8	首相、また発言訂正(『毎日新聞』記事切抜)	1981	5	21	毎日新聞社	記事	印刷物	2点	
2090	9	「核寄港、現実的に対処」首相発言、また否定／核持ち込み「従来見解」で押す／(『読売新聞』記事切抜)	1981	5	21	読売新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	10	首相「事前協議」で発言混乱(『朝日新聞』記事切抜)	1981	5	21	朝日新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	11	日米の「核持ち込み」解釈／鈴木政権の評価一転 自民各派(『毎日新聞』記事切抜)	1981	5	22	毎日新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	12	非核三原則守る 首相答弁(『朝日新聞』記事切抜)	1981	5	22	朝日新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	13	イントロダクションの疑惑 カギはやはりマ元大使(『毎日新聞』記事切抜)	1981	6	2	毎日新聞社	記事	印刷物	1点	
2090	14	「核」対米確認政府見解にズレ／非核の虚構一段と鮮明に 連合審査／日米安保論議長期視野で(『読売新聞』記事切抜)	1981	6	2	読売新聞社	記事	印刷物	2点	